品質管理システム 09

操作マニュアル

大陸建設株式会社

索　引

第１章　お使いになる前に

第１節　必要な動作環境　・・・3

第２章　品質管理 09 の起動

第１節　データ格納場所　・・・4

第２節　環境設定　・・・5

第３章　初期データの登録

第１節　プラント情報登録　・・・8

プラントデータ登録

第２節　工事登録　・・・9

工事データ登録

第３節　合材データの登録　・・・10

粒度規格の登録　・・・11

合材データの登録　・・・12

第４節　資料データの登録　・・・13

資料データ登録

第４章　現場品質管理

第１節　試験データ入力方法　・・・14

第２節　現場密度試験(砂置換)　・・・15

〃　現場密度試験(JIS)

〃　現場密度試験(突砂法)

第３節　球体落下試験　・・・18

第４節　コーン貫入試験　・・・19

第５節　液性・塑性限界試験　・・・20

第６節　平板載荷試験　・・・21

第７節　突固め試験　・・・22

第８節　CBR 試験　・・・24

第９節　修正 CBR 試験　・・・26

第１０節　含水比試験　・・・28

第５章　プラント品質管理

第１節　骨材の洗い試験　・・・29

第２節　アスファルト抽出試験　・・・30

〃　アスファルト抽出試験 JH

第３節　骨材フルイ分け試験　・・・31

第４節　ホットビン管理　・・・34

第５節　基準密度試験　・・・35

第６節　コア厚さ・密度管理　・・・36

第７節　計量自記記録判定成果　・・・37

第８節　温度管理　・・・38

第９節　マーシャル安定度試験　・・・39

第１０節　骨材の密度・吸水率試験　・・・40

第１１節　骨材中の粘土塊量試験　・・・41

第１２節　骨材の形状試験　・・・42

第１３節　ダレ試験　・・・43

第１４節　カンタブロ試験　・・・46

第１５節　現場透水試験　・・・49

第１６節　針入度試験　・・・51

第１７節　最大密度管理(真空法)　・・・52

第１８節　推定針入度試験　・・・53

第６章　一覧表・とりまとめ表

第１節　骨材試験一覧表　・・・54

第２節　再生骨材試験一覧表　・・・55

第３節　とりまとめ表　・・・56

第７章　Ｑ＆Ａ

データのバックアップ　・・・58

新規データを作成

管理者としてソフト実行

データを別工事で保存

第１章　お使いになる前に

第１節　必要な動作環境

品質管理プログラムをご利用いただくために、
以下の環境が必要です。

・Windows2000/XP/Vista/Windows 7　が動作する環境。
・Windows Vista/Windows 7 をご使用の場合は「**管理者**としてこのプログラムを実行する」を指定。

インストールの注意

・インストールを始める前に、あらかじめ他の
Windows アプリケーションをすべて終了させてください。

第２章　品質管理 09 の起動

第１節　データ格納場所の設定

第１項　データ格納場所の設定

品質管理システムを新規に起動させると下の画面が表示します。
「OK」ボタンを押してください。

初期保存場所は「Documents」に「GT09.FDB」ファイルを自動で作成します。

次にバックアップ保存先ウィンドウが表示します。
「OK」ボタンを押してください。

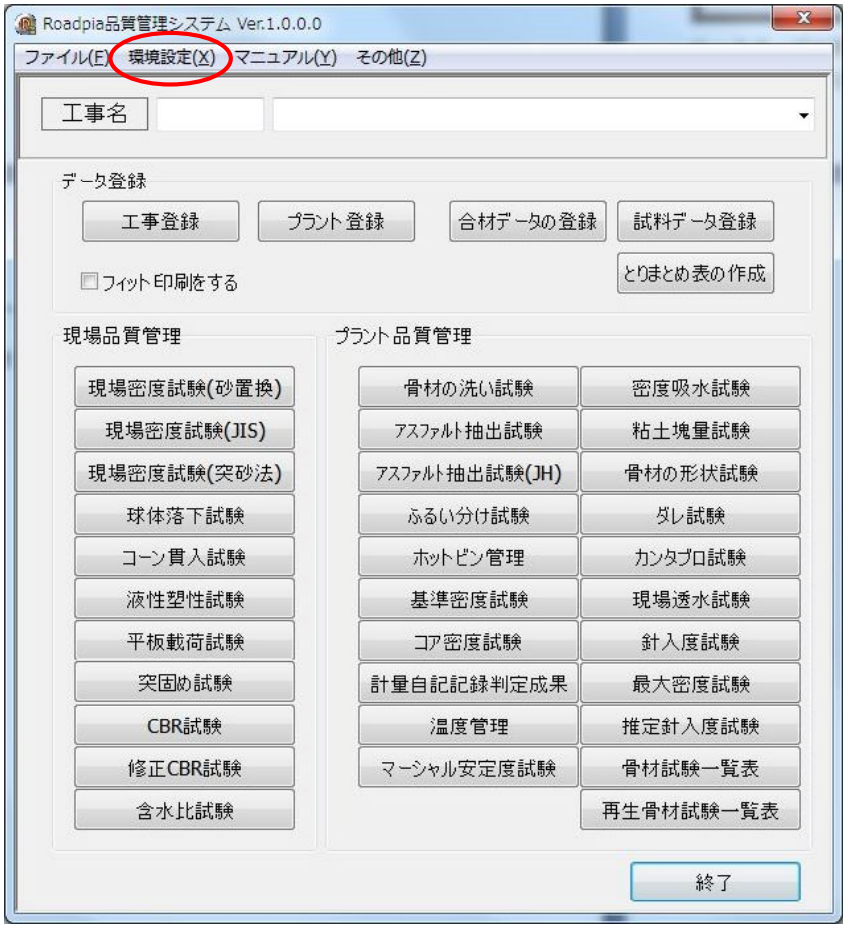
環境設定で「バックアップの保存先」も指定します。

バックアップの初期保存場所は「Program Files」→「Tairiku」→「HINKAN09」です。
(インストール先を変更した場合は　上記の場所と異なります)

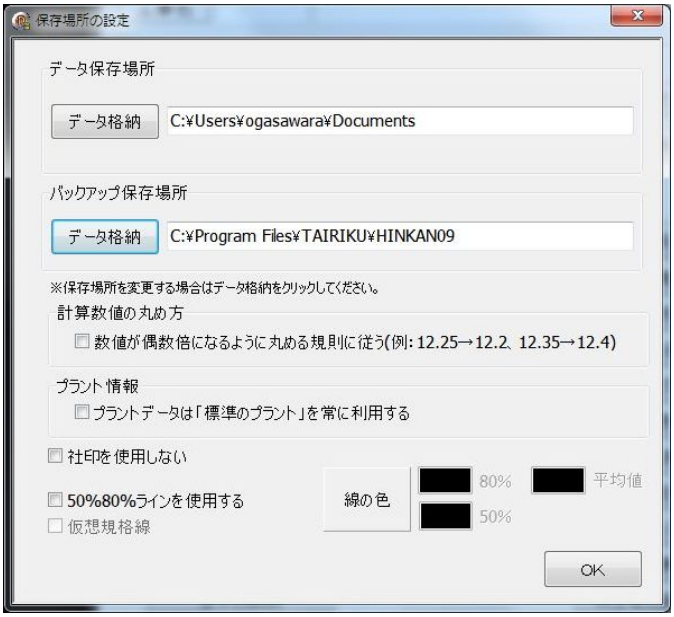
※「GT09.FDB」とは試験データや登録した情報を総括しているファイルです。
　保存先には必ず「GT09.FDB」ファイルが無いとデータが保存できません。
　保存先に「GT09.FDB」が無い場合は自動で作成します。

第２節　環境設定

「品質管理 09」を起動後、環境設定を行います。



上部の「環境設定」を押します。
保存場所の設定ウィンドウが表示します。



データ保存場所とバックアップ保存場所を
指定します。

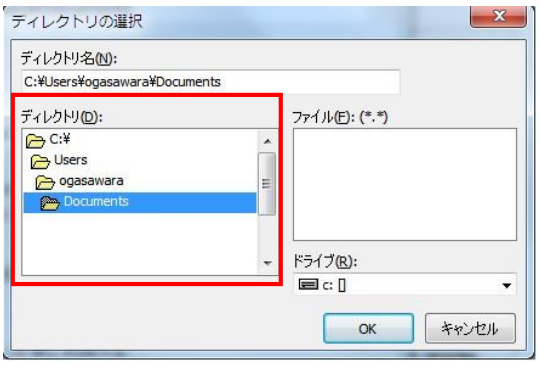
データ初期保存場所は「ドキュメント」の中の「GT09.FDB」が指定されます。

バックアップの初期保存場所は品質管理 09 をインストールした場所が指定されます。

※GT09.FDB はデータベースファイルの名前です。
GT09.FDB の名前は変更しないようにしてください。

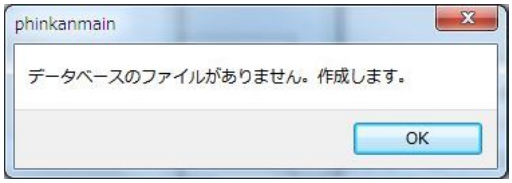
第１項　データ保存場所を変更する場合

「データ保存場所」の「データ格納」を押します。
　以下のウィンドウが表示します。



「ディレクトリ」のフォルダのアイコンをクリックして保存先を指定してください。
指定後「OK」ボタンを押してください。

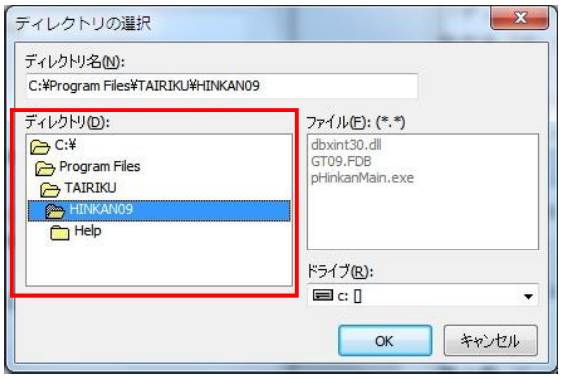
※指定先に「GT09.FDB」ファイルが存在しない場合はメッセージが表示します。



GT09.FDB を自動で作成します。
「OK」ボタンを押してください。

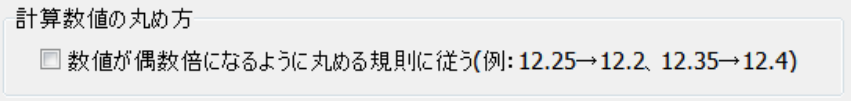
第２項　バックアップ保存場所を変更する場合

「バックアップ保存場所」の「データ格納」を押します。
以下のウィンドウが表示します。



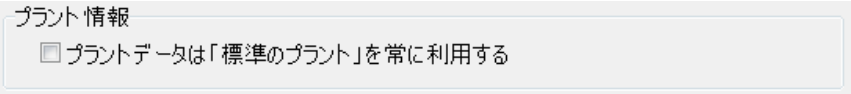
「ディレクトリ」のフォルダのアイコンをクリックして保存先を指定してください。
指定後「OK」ボタンを押してください。
※バックアップはデータ保存場所の「GT09.FDB」をバックアップ保存場所にコピーしてバックアップとします。

[計算数値の丸め方]



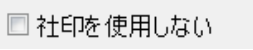
数値を丸める際、遇数値になるようにします。
(12.25→12.2　12.35→12.4)

[プラント情報]



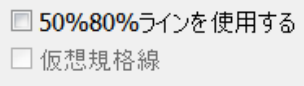
チェックをつけるとプラント登録で標準にしたプラントデータを
常に使用するようになります。

[社印を使用しない]



チェックをつけると印刷プレビューの「㊞」が表示されなくなります。

[50%80%ラインを使用する]



チェックをつけるとプレビューの管理図に 50%80%のラインが表示します。

[仮想規格線]

チェックをつけるとプレビューの管理図に仮想規格線が表示します。

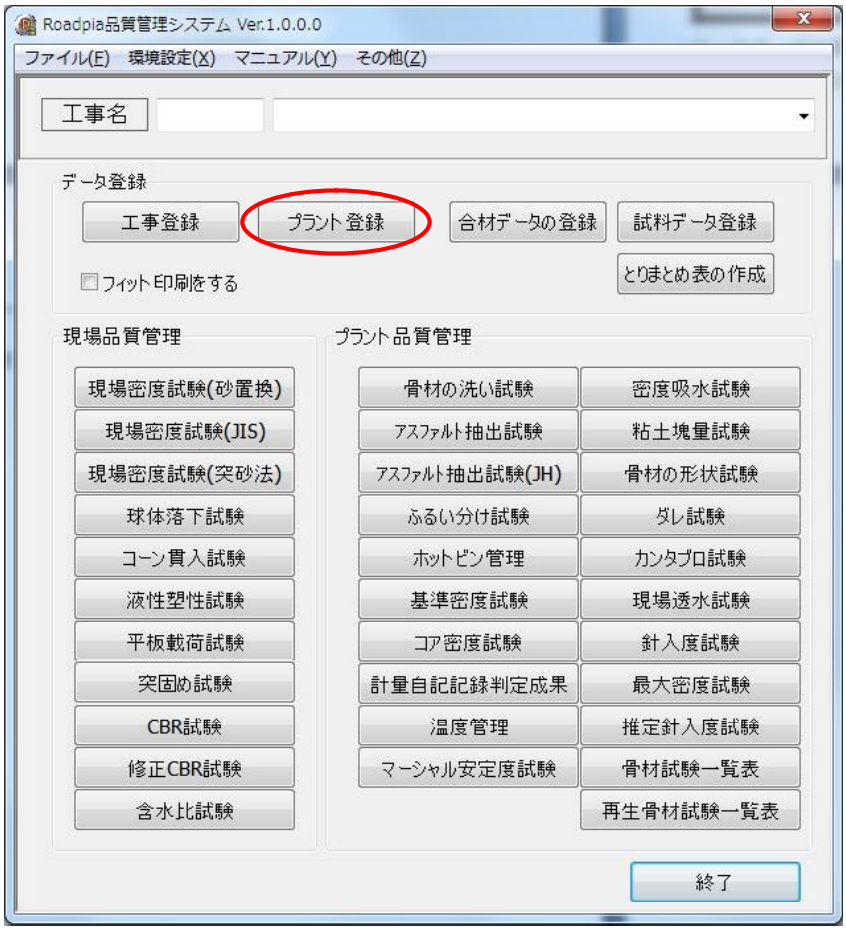
[ラインの色を設定]

「50%80%ラインを使用する」にチェックをつけると線の色を
指定できるようになります。
変更する場合は上の画像の□をダブルクリックしてください。
色の設定ウィンドウが表示されるので色を選択して「OK」ボタンを押してください。

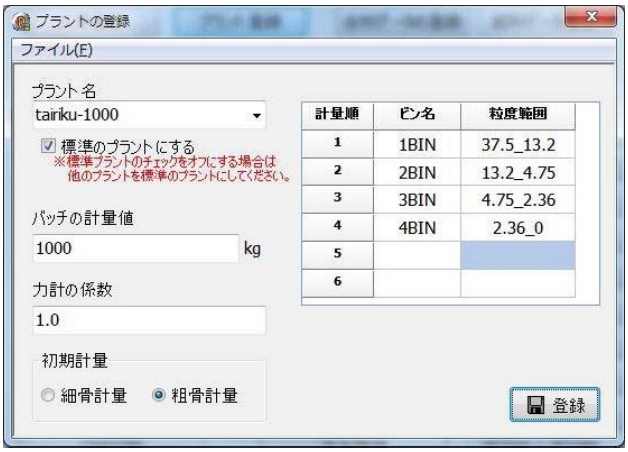
「OK」ボタンを押して現在の環境設定の設定を保存します。

第３章　初期データの登録

第１節　プラント情報登録



「プラント登録」を押します。

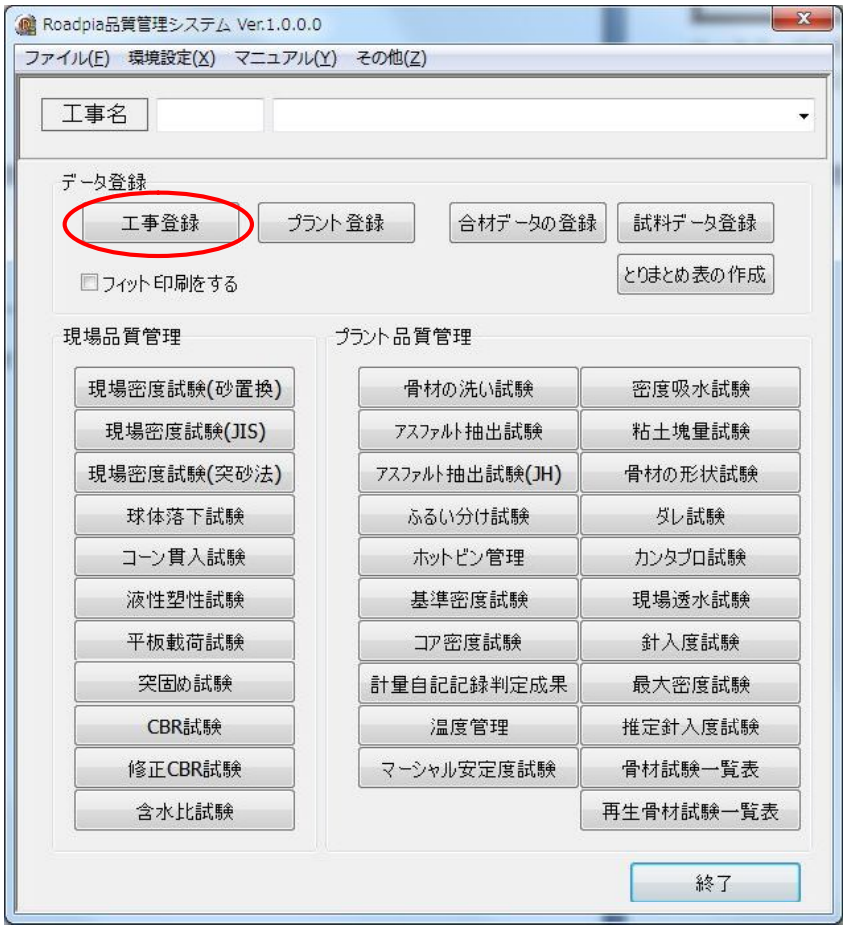


「プラント名」「バッチの計量値」「力計の係数」
「ビン名」は必須です。
（使用しないビン名は空白にします）

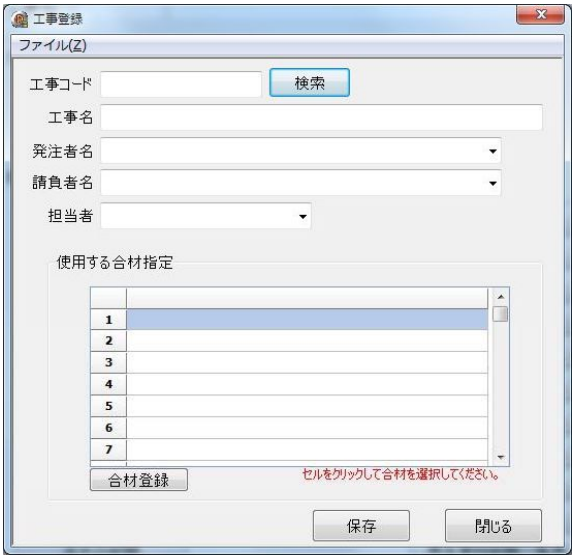
入力後「標準のプラントにする」にチェックを
入れてください。

「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第２節　工事登録



「工事登録」を押します。



「工事コード」「工事名」「発注者名」
「請負者名」「担当者」を入力してください。

［入力例］

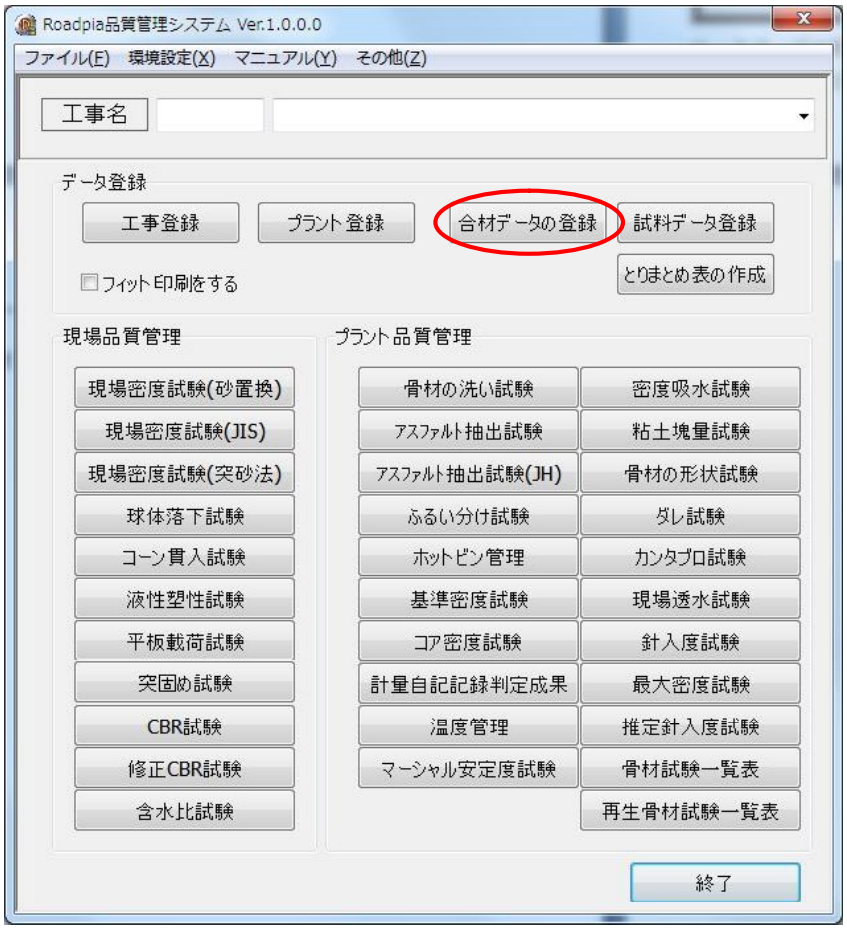
工事コード	Tairiku-01
工事名	一般国道 38 号釧路市鶴野改良工事
発注者名	釧路開発建設部
請負者名	大陸建設株式会社
担当者	小笠原　飛太

「工事コード」「工事名」は必須です。

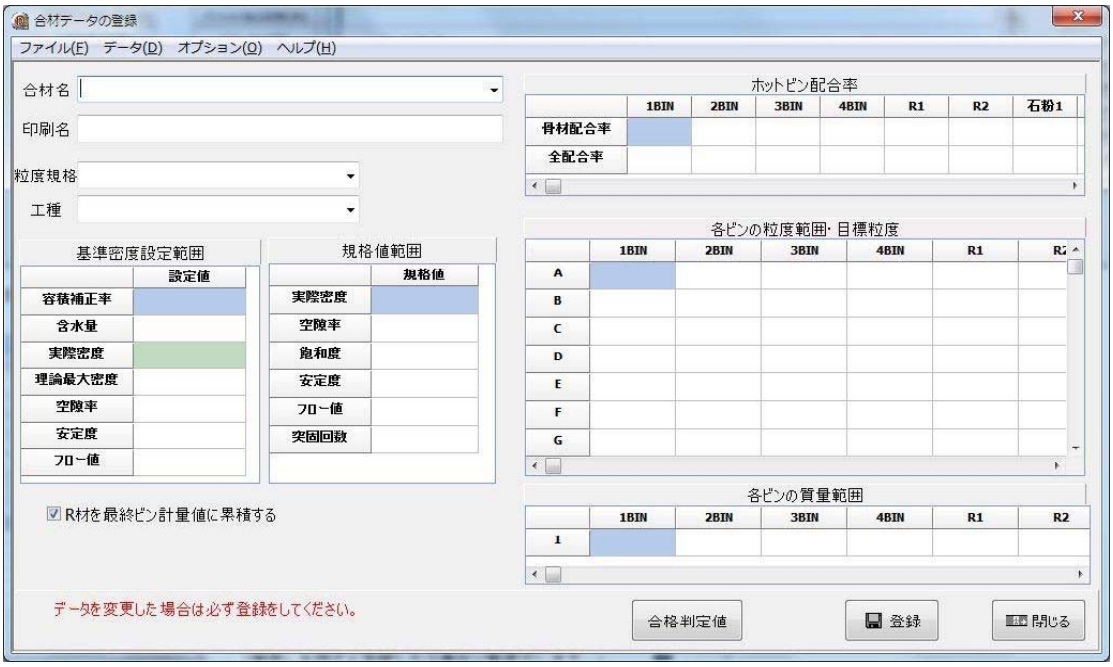
「使用する合材指定」は登録した合材データを選択します。
試験データを作成する際に必要のない合材名を表示させないためです。
「検索」を押すと登録した工事が一覧表示します。

データを入力後「保存」ボタンを押してください。

第３節　合材データの登録



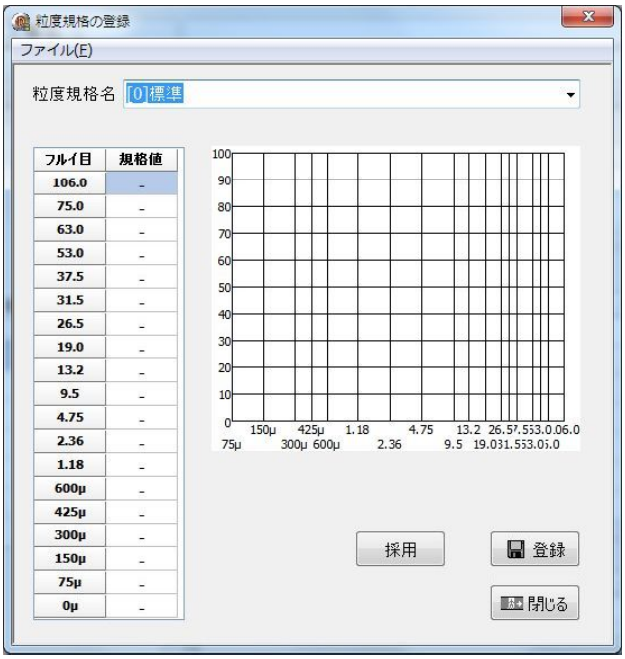
「合材データの登録」



「粒度規格」を登録します。

第１項　粒度規格の登録

上部の「データ」をクリックして「粒度規格の登録」を押します。



粒度規格名と規格値を入力します。

データは、下限値と上限値を「 _ 」（シフト+ろ）で結んで入力します。

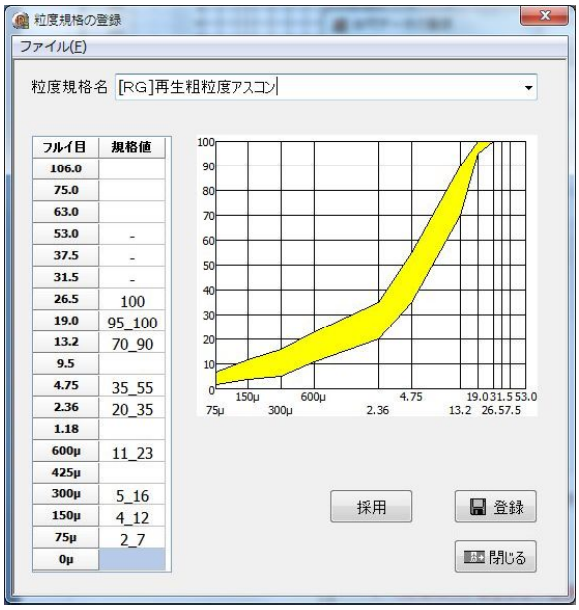
上限値と下限値が同じ場合は一つだけデータを入力してください。
規格値は必ず半角で入力してください。

［入力例］

フルイ目	規格値
53.0	–
37.5	–
31.5	–
26.5	100
19.0	95_100
13.2	70_90
4.75	35_55
2.36	20_35
600μ	11_23
300μ	5_16
150μ	4_12
75μ	2_7

※使わないフルイ目を表示したい場合は「–」（ハイフン）を入力してください。

［入力結果］

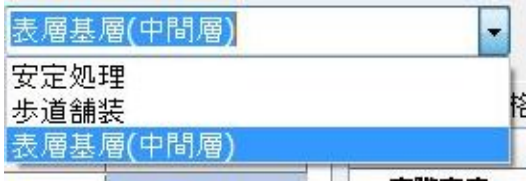


規格値を入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

次に合材データを入力していきます。

［入力例］

「合材名」「印刷名」「粒度規格」「工種」を入力します。
「粒度規格」「工種」は「▼」を押してリストから選択してください。

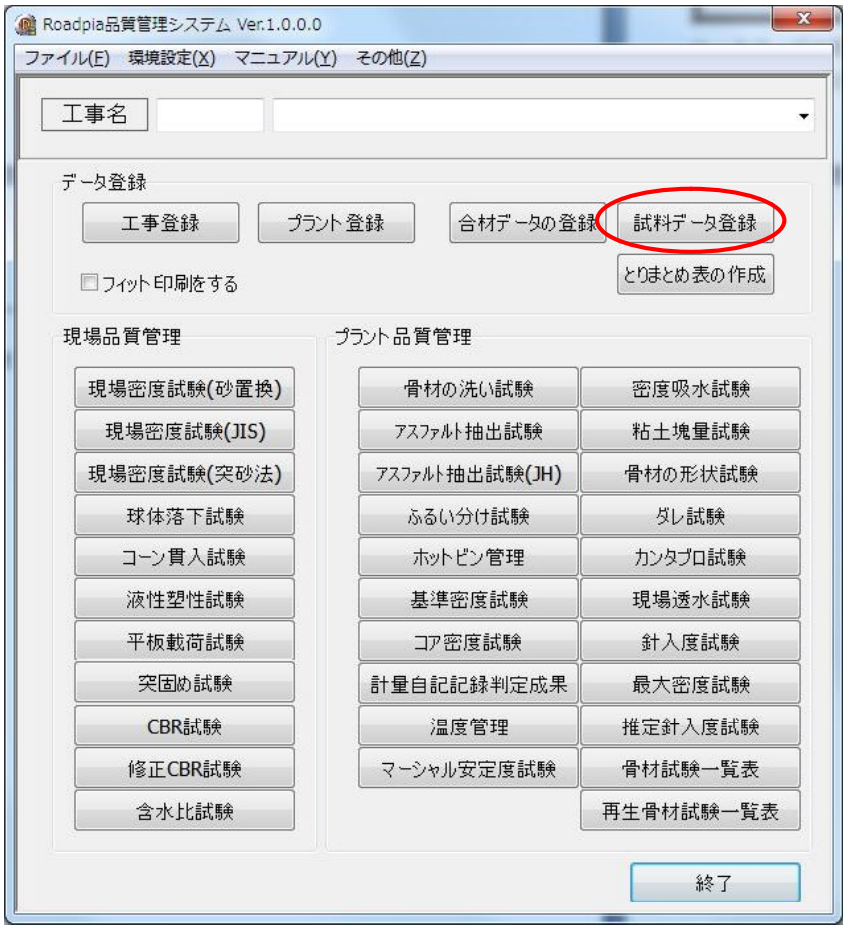


「基準密度設定範囲」「規格値範囲」を入力します。
　「規格値範囲」はマーシャル安定度試験の規格値に使用します。

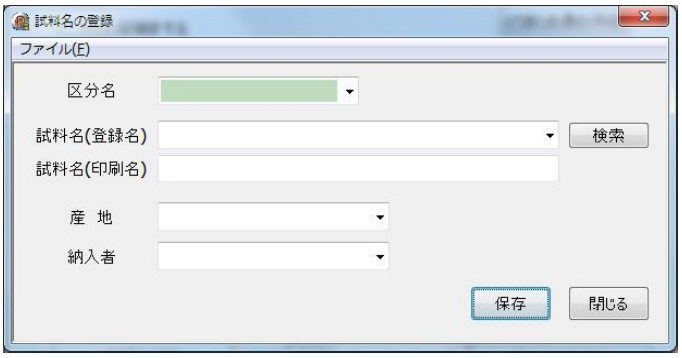
「ホットビン配合率」「粒度範囲・目標粒度」を入力します。
「各ビンの質量範囲」を入力します。

入力後「登録」ボタンを押してデータを保存します。

第４節　試料データの登録



「試料データ登録」を押します。



「区分名」を選択します。
「▼」ボタンを押して区分を選択します。

「試料名(登録名)」「試料名(印刷名)」
「産地」「納入者」を入力します。

［入力例］

区分名	新骨材
登録名	13～5mm 砕石
印刷名	6 号砕石
産地	阿寒産
納入者	大陸建設

新骨材を選択した場合は「種類」を指定してください。

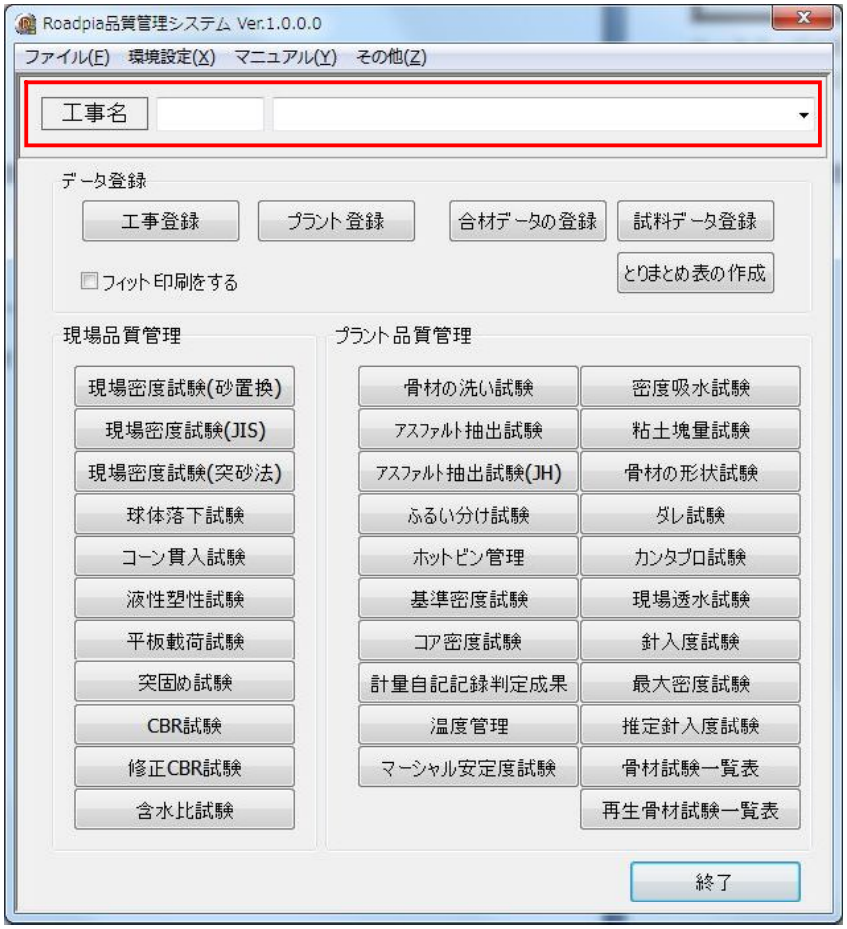
「区分名」「登録名」「印刷名」は必須です。
「検索」を押すと登録した試料データを一覧で表示します。

データを入力後「保存」ボタンを押してください。

第４章　現場品質管理

第１節　試験データ入力方法

各試験データを入力する前に先に工事名を選択します。

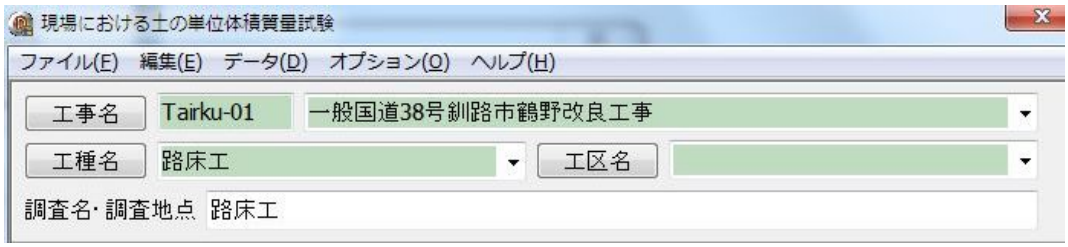


「▼」を押して登録した工事名を選択します。
工事名を選択しておくと、各試験の工事名が選択された状態になります。

工事名を登録する場合は　第３章[初期データの登録]―第２節[工事登録]　を参考にしてください。

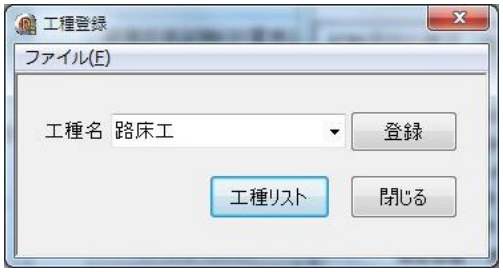
第２節　現場密度試験(砂置換・ＪＩＳ・突砂法)

第１項　工事名・工種名・工区名



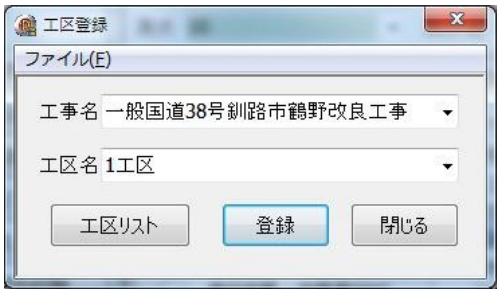
工事名が選択されていない場合は「▼」を押して登録した工事名を選択してください。

工種名を登録していない場合は「工種名」ボタンを押してください。



工種名を入力して「登録」ボタンを押して保存します。

工区名を登録していない場合は「工区名」ボタンを押してください。
（工区名が必要ない場合は空白にしてください）

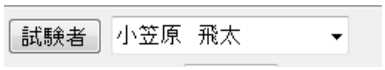


工事名を「▼」で選択して「工区名」を入力してください。
入力後「登録」ボタンを押して保存します。

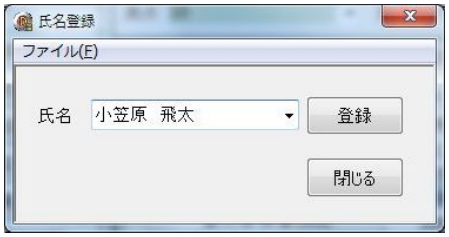
「工事名」「工種名」「工区名」を選択後「調査名・調査地点」を入力します。

第２項　測点・測点名・試験日

試験者を選択します。



氏名を登録していない場合は「試験者」ボタンを押してください。



氏名を入力して「登録」ボタンを押してください。

規格値または合格判定値を入力してください。
※規格値・合格判定値は半角で入力してください。

測点を入力します。データは測点別に保存する事ができます。
測点名は印刷時に表示される測点名です。
「ＳＰ～」「～Ｌ」などは測点名に入力してください。

第３項　試験用砂の検定

	1	2	3	平均値
検定マスの深さ(cm)	98	98	98	
測定器番号	1	2	3	
測定器＋投入砂質量[W1]	7106	7106	7106	
測定器質量[W2]	2106	2106	2106	
投入砂質量[Wa]	5000	5000	5000	
検定容器＋砂質量[W3]	3784	3782	3787	
検定容器質量[W4]	776	776	776	
検定容器内砂質量[Wb]	3008	3006	3011	
測定器＋残砂質量[W5]	2759	2757	2754	
測定器内残砂質量[Wc]	653	651	648	
検定容器の体積[Vc]	2018.8	2018.8	2018.8	容器底面積
試験砂の単位体積質量[γs]	1.490	1.489	1.491	1.490
ベースプレート+漏斗砂質量[Wf]	1339	1343	1341	1341

「試験用砂の検定」データを入力します。
入力後「砂試験データの保存」を押してください。
「砂試験データの呼出」を押すと保存した砂試験データを呼び出します。
※[Enter キー]を押すと計算します。

第４項　含水比の測定

試験用砂の検定　含水比の測定　土の単位体積質量

	1	2	3
(湿潤土＋容器)質量[Ma]	4138	4096	4148
(乾燥土＋容器)質量[Mb]	3862	3828	3874
容器の質量 [Mc]			
含水比[W]	7.15	7.00	7.07
(湿潤土＋容器)質量[Ma]	4138	4096	4148
(乾燥土＋容器)質量[Mb]	3868	3823	3872
容器の質量 [Mc]			
含水比 [W]	6.98	7.14	7.13
平均含水比[W]	7.07	7.07	7.10

「含水比の測定」データを入力します。
※[Enter キー]を押すと計算します。

第５項　土の単位体積質量

試験用砂の検定　含水比の測定　土の単位体積質量

	1	2	3	平均値
試験孔番号	10-1	10-2	10-3	
土質名				
土の最大粒径				
容器番号	10-1	10-2	10-3	
(湿潤土＋容器)質量 [W6]	4138	4096	4148	
容器の質量 [W7]				
湿潤土の質量 [Wd]	4138	4096	4148	
測定器＋投入砂質量 [W8]	7106	7106	7106	
測定器＋残砂質量 [W9]	2992	3026	2997	
試験孔に入った砂質量 [W10]	2773	2739	2768	
試験孔の体積 [V]	1861	1838	1858	
土の湿潤単位体積質量 [γt]	2.224	2.229	2.233	2.229
土の乾燥体積質量 [γd]	2.077	2.082	2.085	2.081

「土の単位体積質量」のデータを入力します。
※[Enter キー]を押すと計算します。

第６項　データの登録

【備　考】

印刷

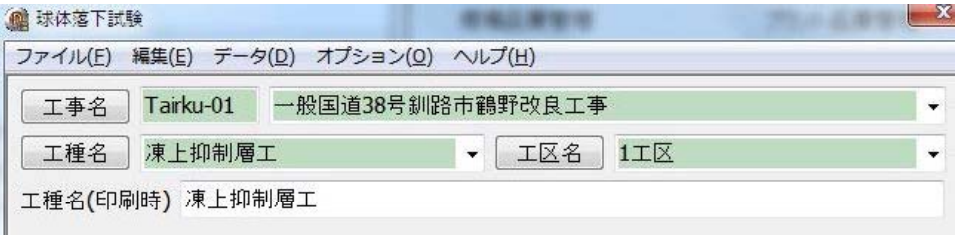
工事名を印刷する　登録　閉じる

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存します。
登録後は測点リストに測点名が追加します。

※ＪＩＳ・突砂法のデータ入力も同様に入力していきます。

第３節　球体落下試験

第１項　工事名・工種名・工区名

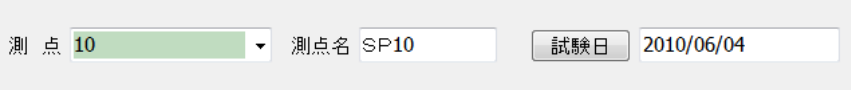


工事名が選択されていない場合は「▼」を押して登録した工事名を選択してください。
「工種名」「工区名」を選択してください。

第２項　材料名

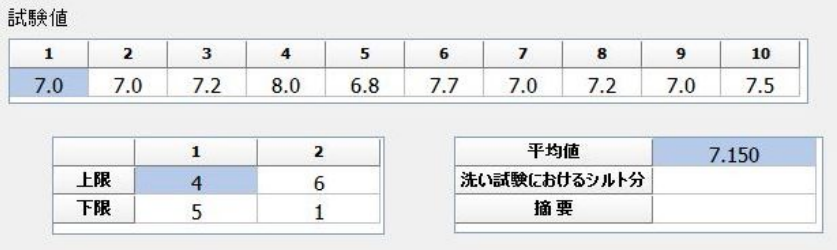
材料が登録されていない場合は上部の「データ」→「規格値登録」を押してください。

第３項　測点・試験日



測点を入力します。データは測点別に保存する事ができます。
測点名は印刷時に表示される測点名です。
「ＳＰ～」「～Ｌ」などは測点名に入力してください。

第４項　試験値の入力



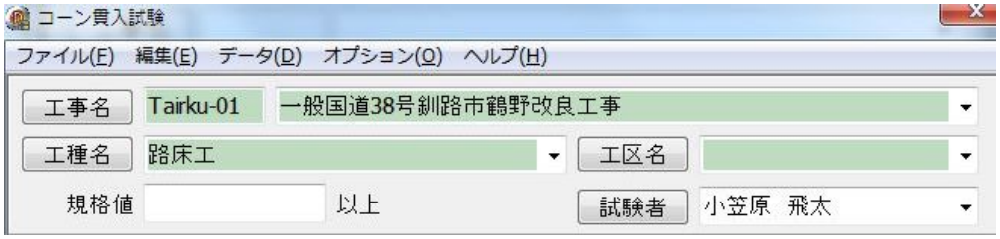
[Enter キー]を押すと「上限」「下限」「平均値」を計算します。

第５項　データの登録

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存します。
登録後は測点リストに測点名が追加します。

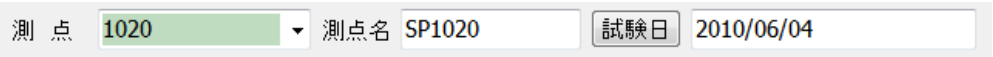
第４章　コーン貫入試験

第１項　工事名・工種名・工区名



工事名が選択されていない場合は「▼」を押して登録した工事名を選択してください。
「工種名」「工区名」を選択してください。
規格値を入力してください。

第２項　測点・測点名



測点を入力します。データは測点別に保存する事ができます。
測点名は印刷時に表示される測点名です。
「ＳＰ～」「～Ｌ」などは測点名に入力してください。

第３項　試験値の入力

路床面からの深さ	ブルーピングリングの読み			備　考
	1	2	3	
5	124	129	119	
10	143	160	151	
15				
20				
合　計	133.5	144.5	135.0	
平　均	137.7			
コーン支持力	41.31			
コーン指数	0.01			

計量器の定数を保存します。

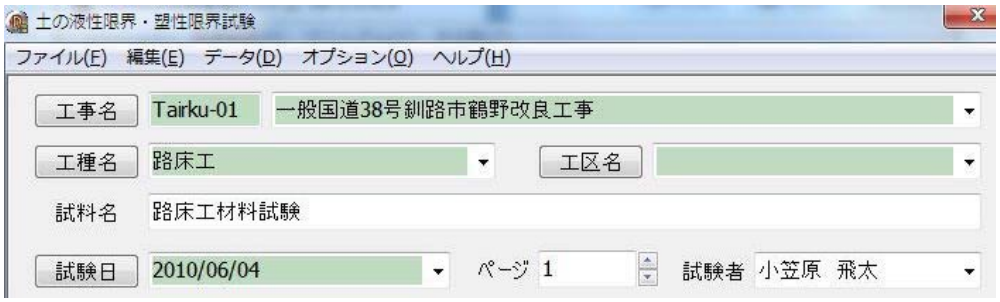
※[Enter キー]を押すと計算します。

第４項　データの登録

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存します。

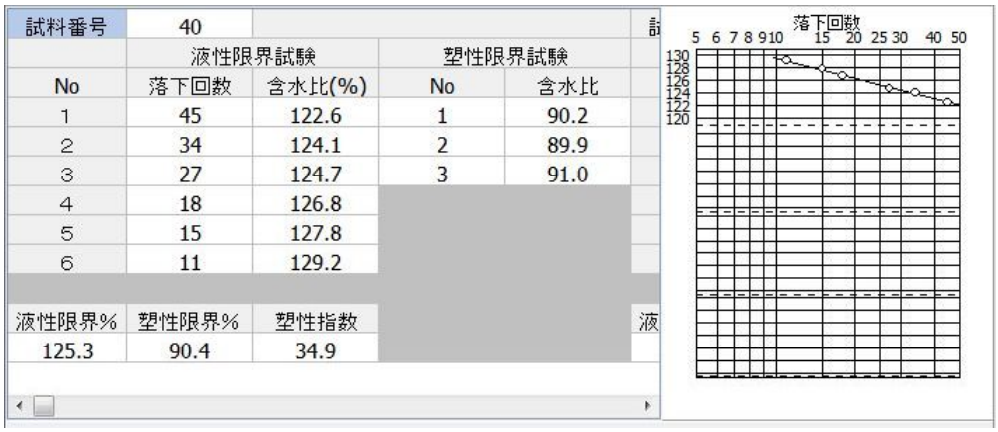
第５章　液性・塑性限界試験

第１項　工事名・工種名・工区名



工事名・工種名・工区名を選択してください。

第２項　試験値の入力



試験値の入力ページは「1 ページから 4 ページ」まであります。
※[Enter キー]を押すと計算します。

第３項　データの登録

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存します。

第６節　平板載荷試験

第１項　工事名・工種名・工区名

工事名・工種名・工区名を選択してください。

「測点番号・深さ」「試験日」を入力します。※半角で入力してください。

・試験日・・試験した日付

・試験者・・試験者の氏名

・載荷板面積・・載荷板の直径を入力すると載荷板面積が求められる。

・天候・・試験当日の天候を入力します。

・力計 No.・・力計の番号を入力します。

・力計秤量・・力計の秤量を入力します。

・較正係数・・力計の較正係数。力計からの読みから全荷重を求める際の係数。

・ジャッキ名称能力・・使用したジャッキの名称を入力します。

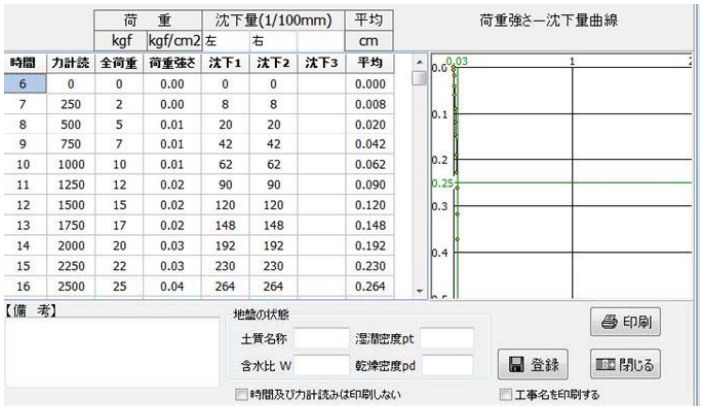
・荷重装置・・荷重装置名を入力します。

・略図・・印刷時、略図の位置に画像ファイルを入力する事が出来ます。

・荷重強さ・・沈下量が入力されるとその値における荷重強さが求められます。

・支持力係数・・必要とする試験結果です。荷重強さ÷沈下量で求められます。

第２項　試験データの入力



入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で再計算されます。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第７節　突固め試験

第１項　工事名・工種名・工区名

工事名・工種名・工区名を選択してください。

「測点番号・深さ」「試験日」を入力します。

試験に必要なデータを入力します。

第２項　試験データの入力

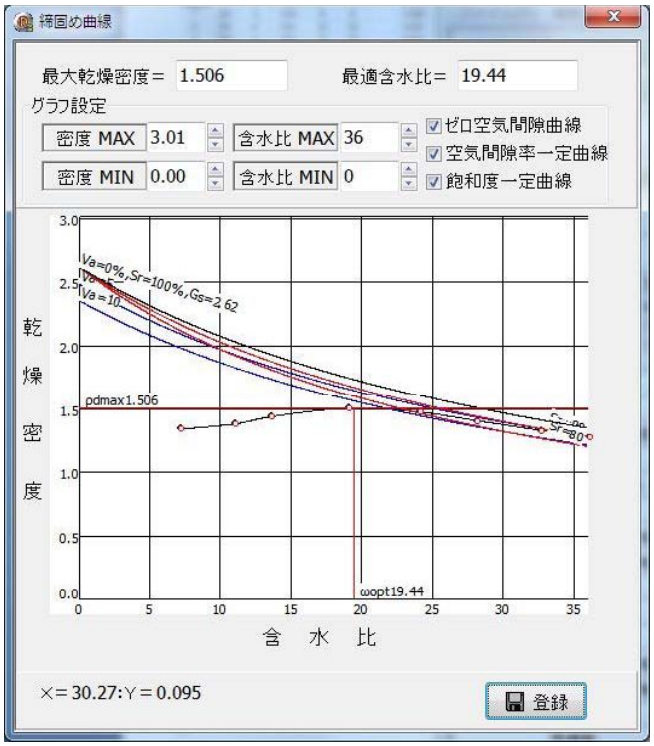
	1	2	3	4
(湿潤試料+モールド)質量(kg)	5.915	6.014	6.115	6.273
湿潤試料質量(kg)	1.435	1.534	1.635	1.793
湿潤密度Pt(g/cm3)	1.435	1.534	1.635	1.793
No.	1	3	6	7
(湿潤土+容器)質量 ma(g)	192.28	67.76	188.60	182.33
(乾燥土+容器)質量 mb(g)	185.00	64.45	175.69	166.56
容器の質量 mc(g)	83.8	34.0	80.58	84.10
含水比	7.19	10.87	13.57	19.12
No.	2	4	6	8
(湿潤土+容器)質量 ma(g)	186.25	65.94	186.21	188.83
(乾燥土+容器)質量 mb(g)	179.39	61.86	173.85	171.83
容器の質量 mc(g)	83.8	25.90	83.78	82.70
含水比	7.18	11.35	13.72	19.07
平均含水比	7.19	11.11	13.65	19.10
乾燥密度	1.339	1.381	1.439	1.505
	5	6	7	8
(湿潤試料+モールド)質量(kg)	6.309	6.281	6.244	6.223
湿潤試料質量(kg)	1.829	1.801	1.764	1.743
湿潤密度Pt(g/cm3)	1.829	1.801	1.764	1.743
No.	9	11	13	15
(湿潤土+容器)質量 ma(g)	186.51	198.65	83.78	209.28
(乾燥土+容器)質量 mb(g)	166.47	173.56	71.45	176.52
容器の質量 mc(g)	84.1	84.12	33.51	86.01
含水比	24.33	28.05	32.50	36.19
No.	10	12	14	16
(湿潤土+容器)質量 ma(g)	188.33	201.34	92.78	94.60
(乾燥土+容器)質量 mb(g)	168.07	175.38	78.28	80.00
容器の質量 mc(g)	83.5	83.58	34.20	39.44
含水比	23.96	28.28	32.89	36.00
平均含水比	24.15	28.17	32.70	36.10
乾燥密度	1.473	1.405	1.329	1.281

※画面は入力したデータが見やすいように加工しています。

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で再計算されます。

第３項　締固め曲線

[締固め曲線]ボタンを押してグラフ設定画面を出します。



グラフ全体が収まるようにグラフの表示範囲を設定します。
乾燥密度は縦軸、含水比は横軸です。
グラフの設定後「登録」ボタンを押してください。

※グラフを変更した場合は再度「突固め試験」のデータも登録してください。

第８節　ＣＢＲ試験

第１項　工事名・工種名・工区名

工事名・工種名・工区名を選択してください。

「測点番号・深さ」「試験日」を入力します。

試験に必要なデータを入力します。

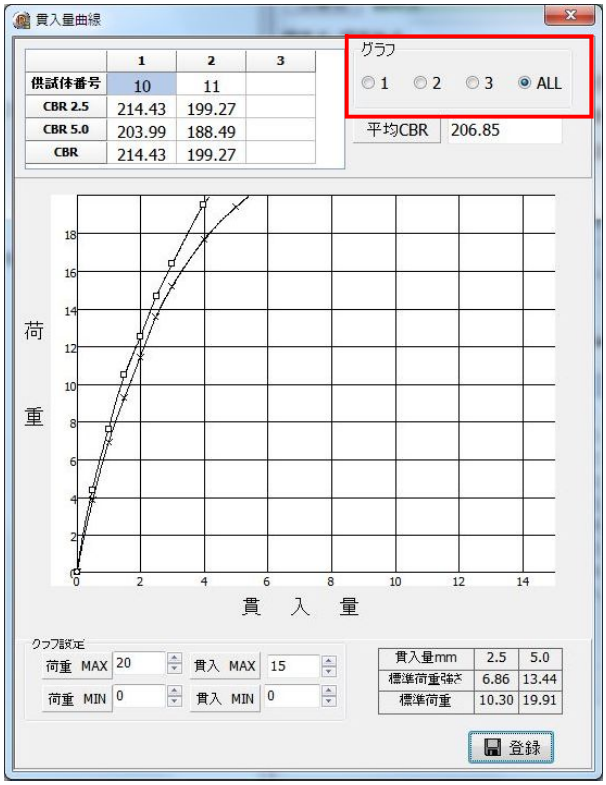
第２項　試験データの入力

※画面は入力したデータが見やすいように加工しています。

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で平均値、荷重強さ、含水比を再計算します。

第３項　グラフ設定

「グラフ表示」ボタンを押してグラフ設定画面を出します。

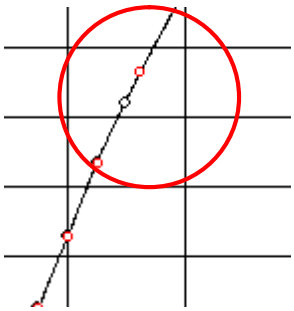


※グラフにデータが反映されていない場合は「ＣＢＲ試験」に戻り
　データを登録してからグラフを設定してください。

グラフ全体を画面に収まるように表示範囲を変更します。

「グラフ設定」の「▼」「▲」を押して数値を変更してください。

右上の「グラフ」をマウスで選択することでグラフを調整可能にします。



「グラフ」を１にした状態。
マウスで赤い点をドラッグ(マウスのボタンを押したままにする事)することでグラフの微調整ができます。
左の画像は赤い点をドラッグして右上へ移動させた画像です。
※赤い点は印刷では出力しません。

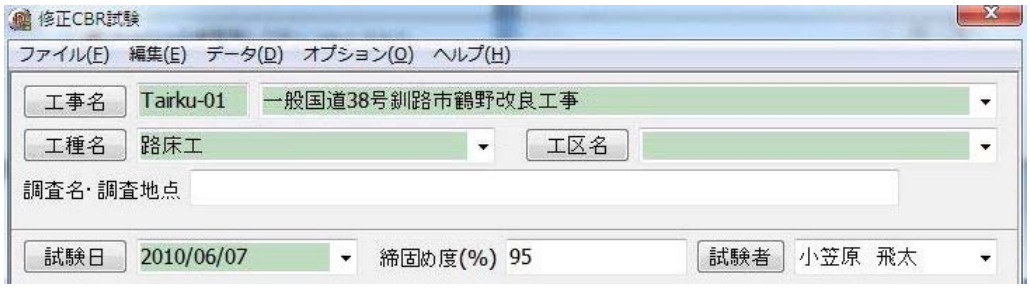
「グラフ」を２に変更して同じく調整します。
全て調整したら「グラフ」をＡＬＬに戻します。

「登録」ボタンを押してグラフの設定を保存します。

※グラフを登録後「ＣＢＲ試験」の登録も再度行ってください。

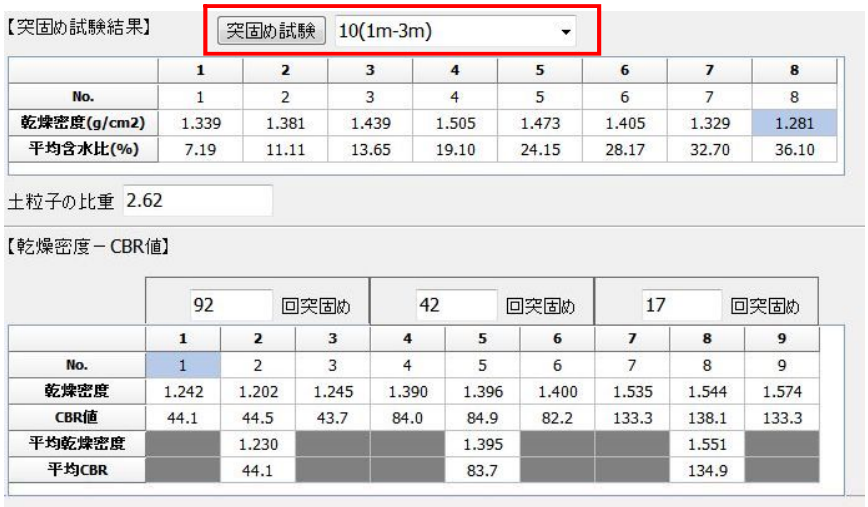
第９節　修正ＣＢＲ試験

第１項　工事名・工種名・工区名



工事名・工種名・工区名を選択してください。
「試験日」を入力します。

第２項　試験データの入力



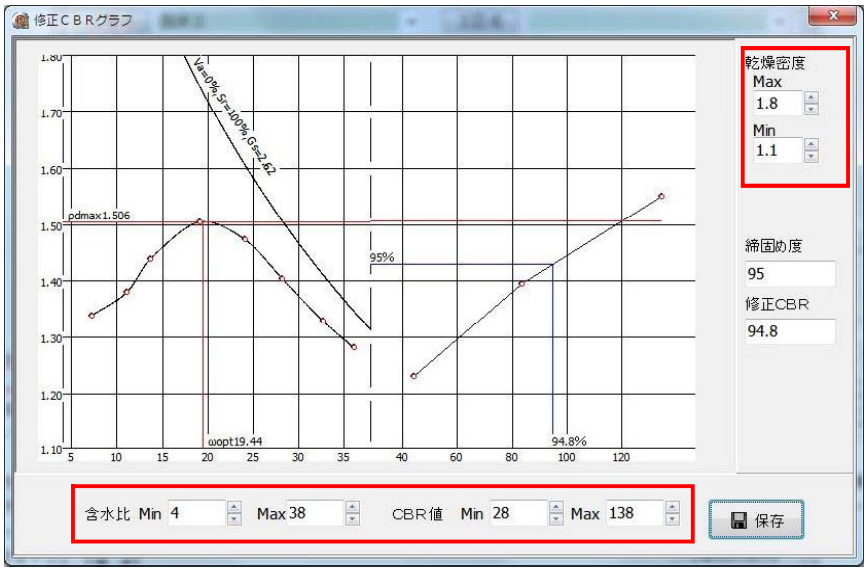
	1	2	3	4	5	6	7	8
No.	1	2	3	4	5	6	7	8
乾燥密度(g/cm2)	1.339	1.381	1.439	1.505	1.473	1.405	1.329	1.281
平均含水比(%)	7.19	11.11	13.65	19.10	24.15	28.17	32.70	36.10

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
乾燥密度	1.242	1.202	1.245	1.390	1.396	1.400	1.535	1.544	1.574
CBR値	44.1	44.5	43.7	84.0	84.9	82.2	133.3	138.1	133.3
平均乾燥密度		1.230			1.395			1.551	
平均CBR		44.1			83.7			134.9	

突固め試験のデータを選択します。
「▼」を押して登録している「突固め試験」データを選択してください。
データが無い場合は「突固め試験」ボタンを押してデータを登録してください。
※突固め試験結果は直接入力してもかまいません。

第３項　グラフ設定

「グラフ表示」ボタンを押してグラフ設定画面を出します。

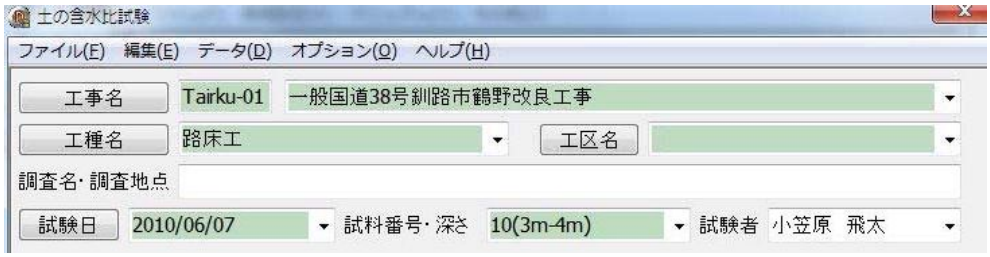


グラフ全体を画面に収まるように表示範囲を変更します。
「含水比」「ＣＢＲ値」「乾燥密度」の「▼」「▲」を押して数値を変更してください。

「登録」ボタンを押してグラフの設定を保存します。
※グラフを登録後「修正ＣＢＲ試験」の登録も再度行ってください。

第１０節　含水比試験

第１項　工事名・工種名・工区名



工事名・工種名・工区名を選択してください。
「試験日」を入力します。

第２項　試験データの入力

	1	2	3	平均値
No.	10	11	12	
(湿潤土+容器)重量(g)	126.01	111.10	145.85	
(乾燥土+容器)重量(g)	39.89	36.54	44.54	
容器の重量(g)	12.61	12.69	12.66	
含水比(%)	315.69	312.62	317.79	315.37

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で含水比を再計算します。

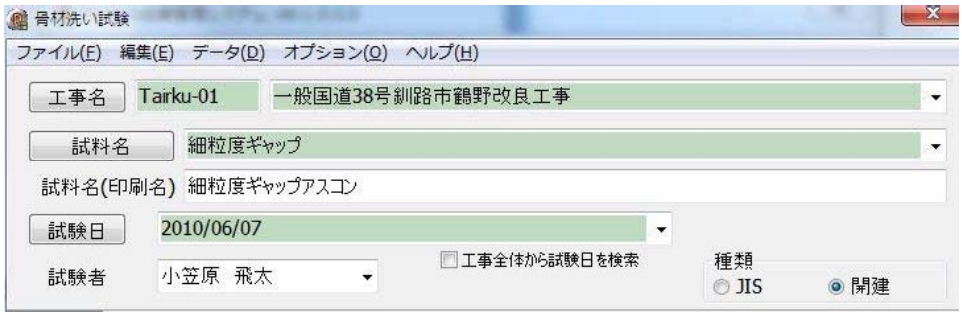
第３項　データを登録

「登録」ボタンを押して試験データを保存します。

第５章　プラント品質管理

第１節　骨材の洗い試験

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。

「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力

洗い試験　フルイ分け試験結果

	1	2	3
洗う前の乾燥質量（g）	5523.3	5514.0	5543.7
洗い後4.75mm残留乾燥質量（g）	4012.3	4024.1	4014.4
洗い後4.75mm通過かつ0.075mm残留乾燥質量(g)	1500.1	1479.7	1518.6
0.075mm通過乾燥質量（g）	10.9	10.2	10.7
0.075mm通過質量の全質量に対する比率(%)	0.20	0.18	0.19
平均値(%)	0.19		
0.075mm通過質量の4.75mm通過質量に対する比率(%)	0.72	0.68	0.70
平均値(%)	0.70		

洗い試験　フルイ分け試験結果

粒度規格　[1]細粒度ギャップアスコン

試料質量　No.1 922.1　No.2 1012.5

表示小数桁　重量 1　% 1

再計算　残留から　加積から　百分率から　再計算

フルイの寸法(mm)	No.1 残留(g)	No.1 加積(g)	No.1 百分率(%)	No.2 残留(g)	No.2 加積(g)	No.2 百分率(%)	平均値(%)	粒度規格(%)
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100
13.2	6.5	6.5	99.3	7.1	7.1	99.3	99.3	95_100
4.75	295.9	302.4	67.2	325.0	332.1	67.2	67.2	60_80
2.36	157.7	460.1	50.1	126.6	458.7	54.7	52.4	45_65
600μ	51.7	511.8	44.5	75.9	534.6	47.2	45.9	40_60
300μ	140.1	651.9	29.3	194.4	729.0	28.0	28.7	20_45
150μ	93.2	745.1	19.2	124.5	853.5	15.7	17.5	10_25
75μ	85.7	830.8	9.9	60.8	914.3	9.7	9.8	8_13
受皿	91.3	922.1	0.0	98.2	1012.5	0.0	0.0	
計	922.1			1012.5				
粗粒率	2.90			2.87			2.88	

「洗い試験」「フルイ分け試験結果」を入力します。

※「粒度規格」ボタンを押すと粒度規格登録画面が表示します。

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で平均値を再計算します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第２節　アスファルト抽出試験・ＪＨ

第１項　工事名、試料名、試験日

「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。
「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力

アスファルト抽出試験　フルイ分け試験結果

	項目		1	2	平均値
A	試料質量		1101.6	1108.3	
B	抽出骨材質量		1051.4	1057.8	
C	ろ紙+フィラー質量		10.6	10.5	
D	ろ紙質量		4.3	4.3	
E	付着フィラー質量	C－D	6.3	6.2	
F	全抽出骨材質量	B＋E	1057.7	1064.0	
G	アスファルト質量	A－F	43.9	44.3	
H	アスファルト含有率	G／A×100	3.99	4.00	4.00

アスファルト抽出試験　フルイ分け試験結果

粒度規格　[1]細粒度ギャップアスコン

試料質量　No.1 922.1　No.2 1012.5

表示小数桁　重量 1　% 1

再計算　残留から　加積から　百分率から　再計算

フルイの寸法(mm)	No.1 残留(g)	No.1 加積(g)	No.1 百分率(%)	No.2 残留(g)	No.2 加積(g)	No.2 百分率(%)	平均値(%)	粒度規格(%)
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100
13.2	6.5	6.5	99.3	7.1	7.1	99.3	99.3	95_100
4.75	295.9	302.4	67.2	325.0	332.1	67.2	67.2	60_80
2.36	157.7	460.1	50.1	126.6	458.7	54.7	52.4	45_65
600μ	51.7	511.8	44.5	75.9	534.6	47.2	45.9	40_60
300μ	140.1	651.9	29.3	194.4	729.0	28.0	28.7	20_45
150μ	93.2	745.1	19.2	124.5	853.5	15.7	17.5	10_25
75μ	85.7	830.8	9.9	60.8	914.3	9.7	9.8	8_13
受皿	91.3	922.1	0.0	98.2	1012.5	0.0	0.0	
計	922.1			1012.5				
粗粒率	2.90			2.87			2.88	

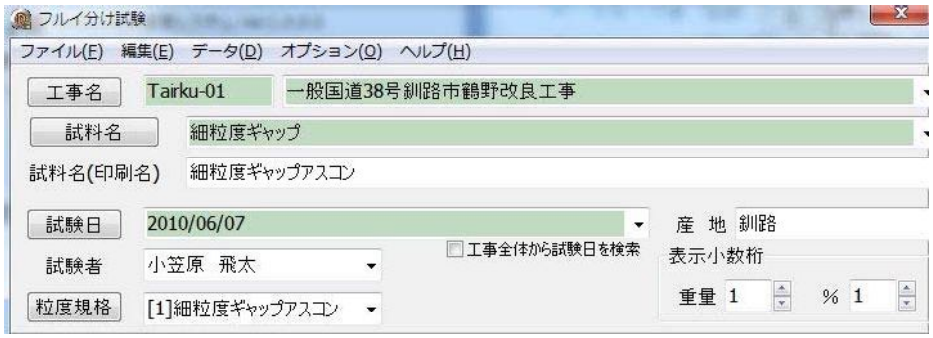
「アスファルト抽出試験」「フルイ分け試験結果」を入力します。
※「粒度規格」ボタンを押すと粒度規格登録画面が表示します。

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で平均値を再計算します。
データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

※「アスファルト抽出試験(JH)」も同様にデータを入力します。

第３節　骨材フルイ分け試験

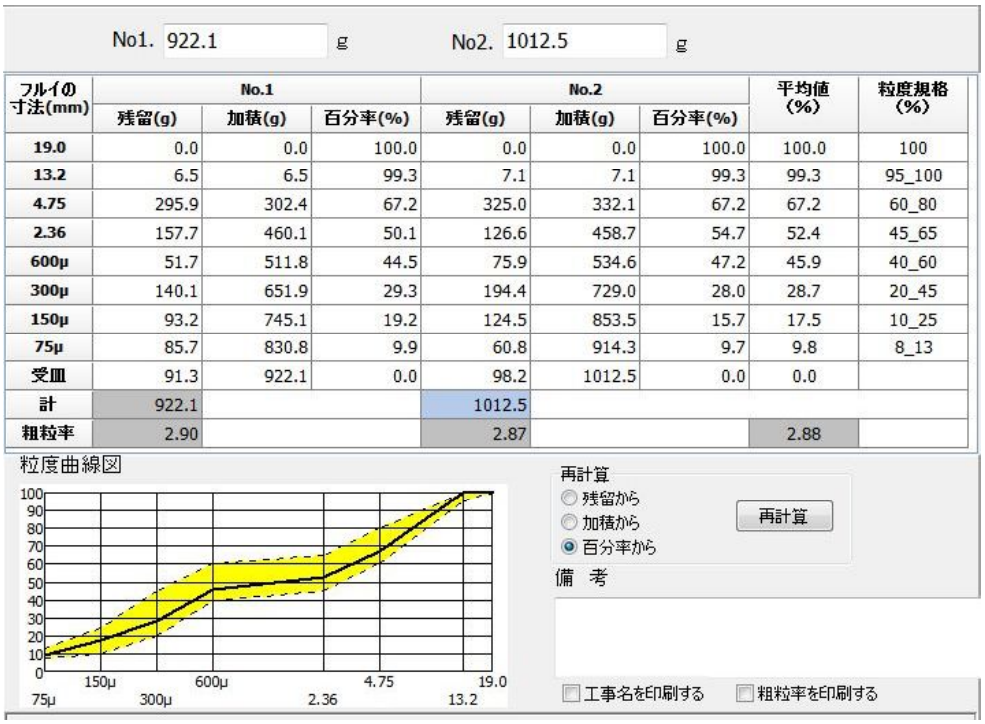
第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。

「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力



フルイの寸法(mm)	No.1 残留(g)	No.1 加積(g)	No.1 百分率(%)	No.2 残留(g)	No.2 加積(g)	No.2 百分率(%)	平均値(%)	粒度規格(%)
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100
13.2	6.5	6.5	99.3	7.1	7.1	99.3	99.3	95_100
4.75	295.9	302.4	67.2	325.0	332.1	67.2	67.2	60_80
2.36	157.7	460.1	50.1	126.6	458.7	54.7	52.4	45_65
600μ	51.7	511.8	44.5	75.9	534.6	47.2	45.9	40_60
300μ	140.1	651.9	29.3	194.4	729.0	28.0	28.7	20_45
150μ	93.2	745.1	19.2	124.5	853.5	15.7	17.5	10_25
75μ	85.7	830.8	9.9	60.8	914.3	9.7	9.8	8_13
受皿	91.3	922.1	0.0	98.2	1012.5	0.0	0.0	
計	922.1			1012.5				
粗粒率	2.90			2.87			2.88	

「フルイ分け試験結果」を入力します。

※「粒度規格」ボタンを押すと粒度規格登録画面が表示します。

入力後[Enter キー]を押すと入力した数値で平均値を再計算します。

第３項　試験値入力方法

①残留量から入力する場合

再計算を「残留から」に変更します。

No1.　　g　　No2.　　g

フルイの寸法(mm)	No.1			No.2			平均値(%)	粒度規格(%)
	残留(g)	加積(g)	百分率(%)	残留(g)	加積(g)	百分率(%)		
19.0	0.0			0.0				100
13.2	6.5			7.1				95_100
4.75	295.9			325.0				60_80
2.36	157.7			126.6				45_65
600μ	51.7			75.9				40_60
300μ	140.1			194.4				20_45
150μ	93.2			124.5				10_25
75μ	85.7			60.8				8_13
受皿	91.3			98.2				
計								
粗粒率								

残留に試験値を入力します。

②加積量から入力する場合

再計算を「加積から」に変更します。

フルイの寸法(mm)	No.1			No.2			平均値(%)	粒度規格(%)
	残留(g)	加積(g)	百分率(%)	残留(g)	加積(g)	百分率(%)		
19.0		0.0			0.0			100
13.2		6.5			7.1			95_100
4.75		302.4			332.1			60_80
2.36		460.1			458.7			45_65
600μ		511.8			534.6			40_60
300μ		651.9			729.0			20_45
150μ		745.1			853.5			10_25
75μ		830.8			914.3			8_13
受皿		922.1			1012.5			
計								
粗粒率								

加積に試験値を入力します。

③百分率から入力する場合

再計算を「百分率」に変更します。

No1. 922.1　　g　　No2. 1012.5　　g

フルイの寸法(mm)	No.1			No.2			平均値(%)	粒度規格(%)
	残留(g)	加積(g)	百分率(%)	残留(g)	加積(g)	百分率(%)		
19.0			100.0			100.0		100
13.2			99.3			99.3		95_100
4.75			67.2			67.2		60_80
2.36			50.1			54.7		45_65
600μ			44.5			47.2		40_60
300μ			29.3			28.0		20_45
150μ			19.2			15.7		10_25
75μ			9.9			9.7		8_13
受皿			0.0			0.0		
計								
粗粒率								

百分率から入力させる場合は最初に「試料総重量」を先に入力します。
総重量を入力後、百分率を入力してください。

入力後「再計算」ボタンを押すと百分率、試料総重量が求められます。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第４節　ホットビン管理

第１項　工事名、合材名、試験日

「工事名」「合材名」「試験日」を選択します。
「合材名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力

	2BIN		3BIN		4BIN		R1	Fi1
1	169.3	22.70	112.1	15.10	252.2	33.90	20.00	8.30

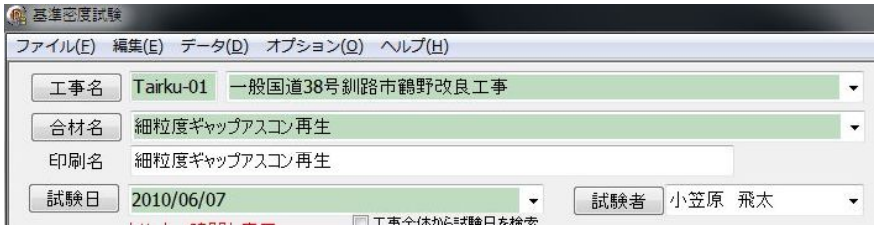
	2BIN		3BIN		4BIN		R1	Fi1	合成粒度
19.0	0.0	100.0							100.0
13.2	2.4	98.6	0.0	100.0			100.0		99.7
4.75	165.2	1.0	3.3	97.1	0.0	100.0	63.5		69.8
2.36	1.2	0.3	92.6	14.5	3.8	98.5	56.8		55.4
600μ			15.8	0.4	51.2	78.2	41.4	100.0	43.2
300μ					113.2	33.3	31.8	100.0	26.0
150μ					60.5	9.3	20.3	98.0	15.4
75μ					16.4	2.8	9.7	84.0	9.8
受皿	0.5	0.0	0.4	0.0	7.1	0.0			0.0

※入力後[Enter キー]で合成粒度を計算します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第５節　基準密度試験

第１項　工事名、合材名、試験日



「工事名」「合材名」「試験日」を選択します。

「合材名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力

日付	時刻	温度	厚さ	空中重量	水中重量	表乾重量	容積	密度
2010/03/04	6	122.0	6.35	1241.5	729.5	1245.3	515.8	2.407
		121.0	6.32	1213.4	702.2	1214.6	512.4	2.368
		121.5	6.39	1257.8	742.7	1261.8	519.1	2.423
	平均							2.399
2010/03/04	13	120.0	6.37	1258.3	742.9	1260.3	517.4	2.432
		115.5	6.28	1227.8	722.1	1232.2	510.1	2.407
		114.9	6.32	1240.5	731.5	1243.9	512.4	2.421
	平均							2.420
2010/03/06	8	115.6	6.28	1217.6	709.0	1219.1	510.1	2.387
		116.0	6.33	1239.9	728.4	1241.6	513.2	2.416
		119.0	6.28	1247.7	741.9	1252.0	510.1	2.446
	平均							2.416
2010/03/06	19	120.3	6.35	1253.0	742.5	1257.3	514.8	2.434
		120.4	6.31	1255.9	744.1	1256.7	512.6	2.450
		120.4	6.33	1248.5	735.7	1249.9	514.2	2.428
	平均							2.437

※入力後[Enter キー]で基準密度の欄に平均値が算出します。

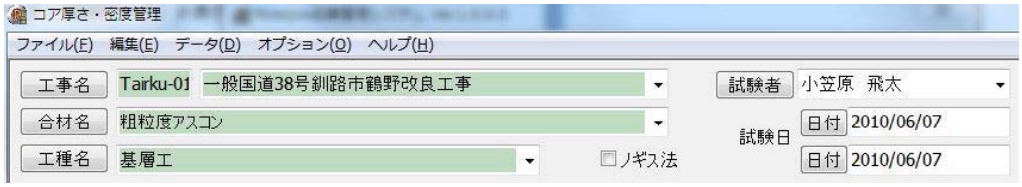
※□の部分には[西暦/月/日]を入力してください。

※時刻には時間を選択してください。(時刻の部分をダブルクリックするとリストが表示します)

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第６節　コア厚さ・密度管理

第１項　工事名、合材名、工種名



「工事名」「合材名」「工種名」を選択します。
「合材名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。
「工種名」を押すと工種名登録画面が表示します。

第２項　試験データの入力

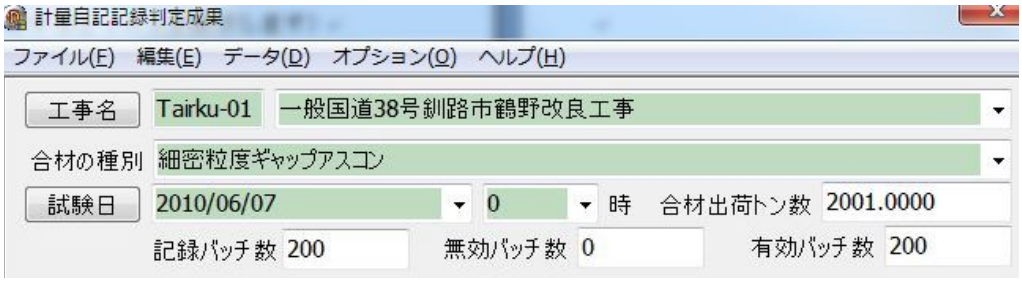
	測点	規格値	厚さ1	厚さ2	厚さ3	厚さ4	平均厚	空中重量	水中質量	表乾質量	容積	密度	締固度
1	20L	5.0	5.00				5.00	950.6	550.1	956.2	406.1	2.341	98.1
2	40L	5.1	5.10				5.10	972.5	563.3	977.6	414.3	2.347	98.4

「基準密度」を押すと登録した基準密度データが一覧で表示します。
※入力後[Enter キー]で密度、締固度を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第７節　計量自記記録判定成果

第１項　工事名、合材名、試験日、時間



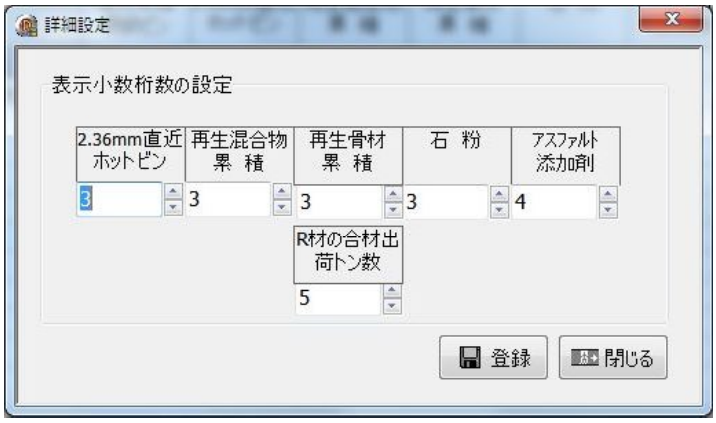
「工事名」「合材名」「試験日」「時間」を選択します。
合材出荷トン数を入力してください。

第２項　試験データの入力

	有効バッチ数	範囲にはずれる個数					
		骨材累積最終ビン	2.36mm直近ホットビン	再生混合物累積	再生骨材累積	石粉	アスファルト添加剤
1	1_100	0	0	0	0	0	0
2	101_200	0	0	0	0	0	0
3							

記録バッチ数入力後[Enter キー]を押すと
「有効バッチ数」「無効バッチ数」「範囲に外れる個数」を自動入力します。

上部の「オプション」から「詳細設定」をクリックします。

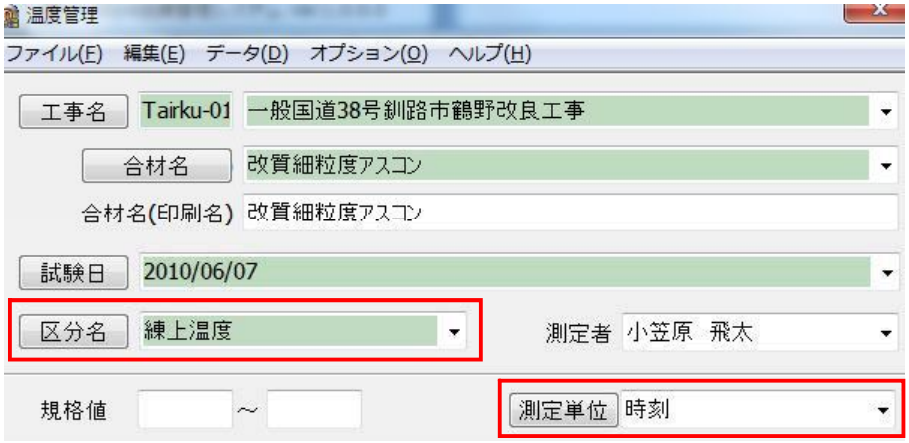


出力桁数を「▼」「▲」をクリックして変更してください。
設定したら「登録」ボタンを押してください。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

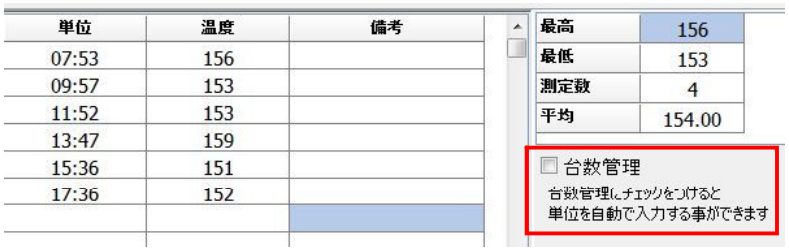
第８節　温度管理

第１項　工事名、合材名、試験日、区分名



「工事名」「合材名」「試験日」「区分名」を選択します。
「区分名」が登録されていない場合は「区分名」ボタンを押して区分名を登録してください。
「測定単位」が登録されていない場合は「測定単位」ボタンを押して測定単位を登録してください。

第２項　試験データの入力



単位と温度を入力します。
※入力後[Enter キー]で最高温度、最低温度、測定数、平均を算出します。

台数管理にチェックをつけると、単位を入力する際に
自動入力になります。

単位	温度
1	156
	153
	153
	159
	151
	152

入力後
「↓」キーを押す
と

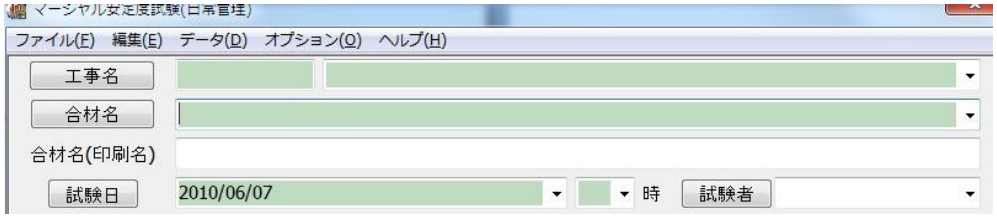
単位	温度
1	156
2	153
	153
	159
	151
	152

一つ上の単位+1 の数が
入力します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第９節　マーシャル安定度試験

第１項　工事名、合材名、試験日、時間



「工事名」「合材名」「試験日」「時刻」を選択します。

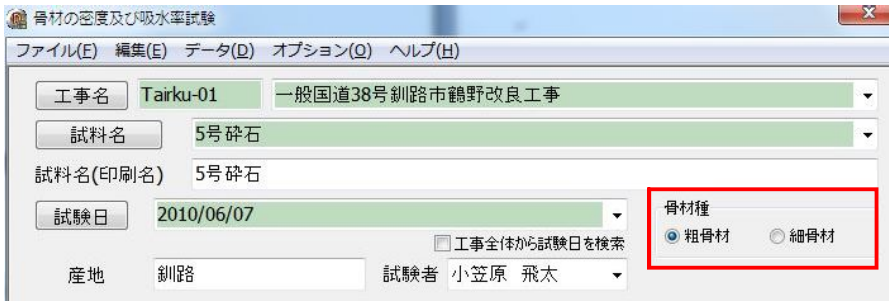
第２項　試験データの入力

※入力後[Enter キー]で容積、実際密度、安定度、平均を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１０節　骨材の密度・吸水率試験

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。
骨材の種類に合わせて「骨材種」を選択してください。

第２項　試験データの入力

測定番号			1	2
① 表乾試料+容器質量	(g)		4561.4	5338.6
② 容器質量	(g)		1309.3	1299.6
③ 表乾試料の質量	(g)	①－②	3252.1	4039.0
④ (かご+試料)の水中質量	(g)		2595.3	3103.3
⑤ かごの水中質量	(g)		501.6	501.6
⑥ 水の温度	(℃)		15	16
⑦ ⑥における水の密度	(g/cm3)		0.99910	0.99894
⑧ 試料の水中質量	(g)	④－⑤	2093.7	2601.7
⑨ 表乾密度	(g/cm3)	③/(③－⑧)×⑦	2.805	2.807
平均値				2.806
⑩ 乾燥後の試料質量	(g)		3206.1	3980.0
⑪ かさ密度	(g/cm3)	⑩/(③－⑧)×⑦	2.765	2.766
平均値				2.766
⑫ 見掛密度	(g/cm3)	⑩/(⑩－⑧)×⑦	2.880	2.885
平均値				2.883
⑬ 吸水率	(%)	(③－⑩)/⑩×100	1.43	1.48
平均値				1.46

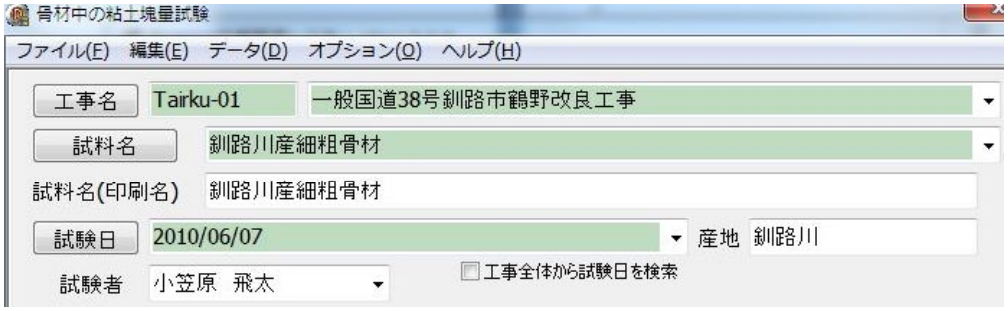
備　考　　比重吸水試験として出力する

※入力後[Enter キー]でかさ密度、見掛密度、吸水率を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１１節　骨材中の粘土塊量試験

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。

第２項　試験データの入力

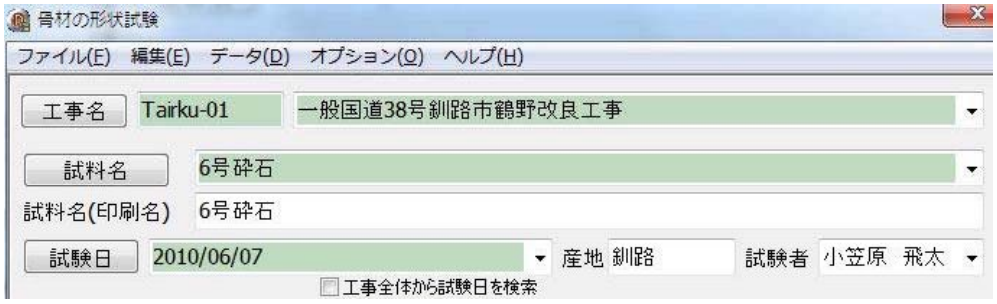
細骨材の粘土塊量試験			
測定番号		1	2
① 試験前の試料の乾燥重量　(g)		1509.9	1672.4
② 試験後の試料の乾燥重量　(g)		1491.9	1664.2
③ 損失重量　(g)	①－②	18.0	8.2
④ 粘土塊量　(%)	③/①×100	1.2	0.5
⑤ 平均値　(%)			0.9
⑥ 平均値からの偏差　(%)			0.5
粗骨材の粘土塊量試験			
測定番号		1	2
⑦ 試験前の試料の乾燥重量　(g)		7237.9	7524.2
⑧ 試験後の試料の乾燥重量　(g)		7224.2	7505.3
⑨ 損失重量　(g)	⑦－⑧	13.7	18.9
⑩ 粘土塊量　(%)	⑨/⑦×100	0.2	0.3
⑪ 平均値　(%)			0.3
⑫ 平均値からの偏差　(%)			0.1

※入力後[Enter キー]で平均値、偏差を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１２節　骨材の形状試験

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。

第２項　試験データの入力

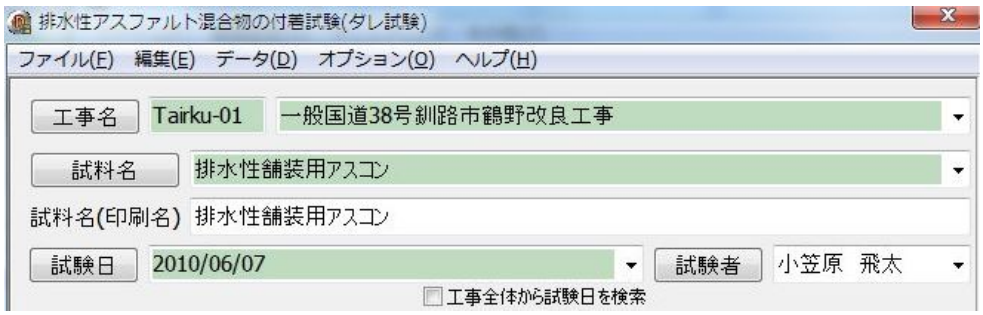
	1	2	3	4
①細長あるいは扁平と判断された骨材の質量(g)	23.0	22.2		
②細長あるいは扁平と判断されなかった骨材の質量(g)	900.1	908.5		
③細長あるいは扁平と判断された骨材の含有率(%)	2.5	2.4		
平均値(%)				2.5
偏差				3.5

※入力後[Enter キー]で平均値、偏差を算出します。

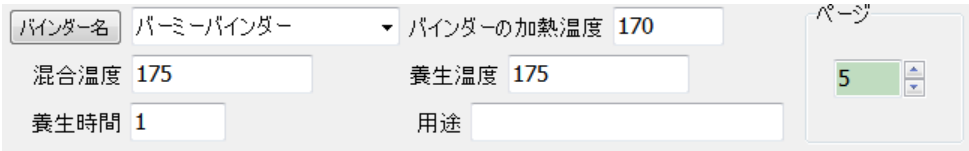
データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１３節　ダレ試験

第１項　工事名、試料名、試験日



第２項　バインダー登録



「バインダー名」を押すとバインダー登録画面が表示します。
登録をしていない場合は「バインダー名」を押して登録してください。

第３項　試験データの入力

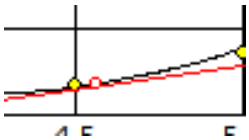
		①	②	③	④	⑤	⑥
	アス量	試験前の容器	容器質量+試	試料質量	試験後の容器	試験後の試料	アスファルト・モルタ
1		808.8	4054.4	3245.6	812.0	3.2	0.10
2							
3	4.0						
4							
5							
平均		808.8	4054.4	3245.6	812.0	3.2	0.10
1		808.6	4014.8	3206.2	814.1	5.5	0.17
2							
3	4.5						
4							
5							
平均		808.6	4014.8	3206.2	814.1	5.5	0.17
1		808.7	4032.9	3224.2	820.1	11.4	0.35
2							
3	5.0						
4							
5							
平均		808.7	4032.9	3224.2	820.1	11.4	0.35
1		808.7	4007.9	3199.2	852.3	43.6	1.36
2							
3	5.5						
4							
5							
平均		808.7	4007.9	3199.2	852.3	43.6	1.36
1		808.8	3998.9	3190.1	906.4	97.6	3.06
2							
3	6.0						
4							
5							
平均		808.8	3998.9	3190.1	906.4	97.6	3.06

※入力後[Enter キー]で平均値を計算します。
※画面は加工しております。

第４項　グラフの設定

「グラフ表示」を押してグラフ画面を呼び出します。

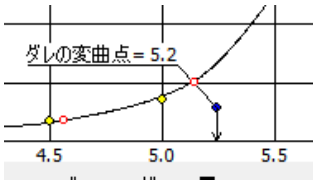
①グラフの微調整



マウスで赤い点をドラッグ(マウスのボタンを押したままにする)することで
グラフの微調整ができます。
※赤い点は印刷では出力されません。

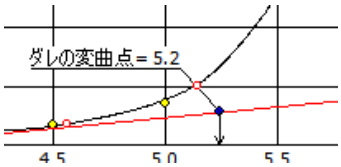
②グラフの接線を引く（交点の設定）

「交点の設定」ボタンを押して交点の設定モードにします。



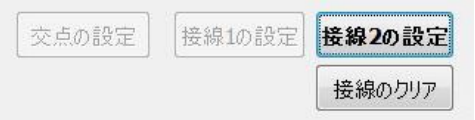
グラフ上でクリックをして交点を設定してください。

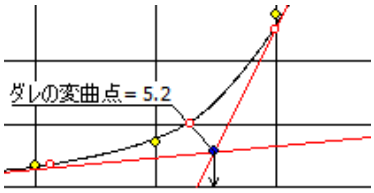
「接線１の設定」



グラフ上でクリックをして接線１を設定してください。
設定後「接線１の設定」をクリックして設定モードを解除してください。

「接線２の設定」





グラフ上でクリックをして接線２を設定してください。
設定後「接線２の設定」をクリックして設定モードを解除してください。

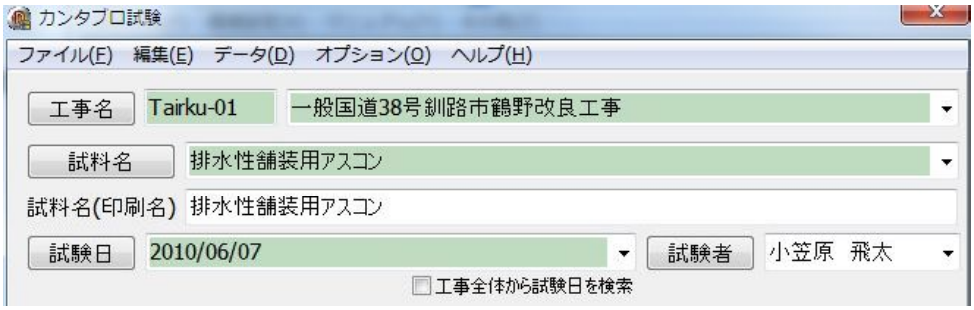
③設定を保存する

「登録」ボタンを押して設定を保存してください。

※グラフを変更した場合は再度「ダレ試験」のデータも登録してください。

第１４節　カンタブロ試験

第１項　工事名、試料名、試験日



第２項　バインダー登録

「バインダー名」を押すとバインダー登録画面が表示します。
登録をしていない場合は「バインダー名」を押して登録してください。

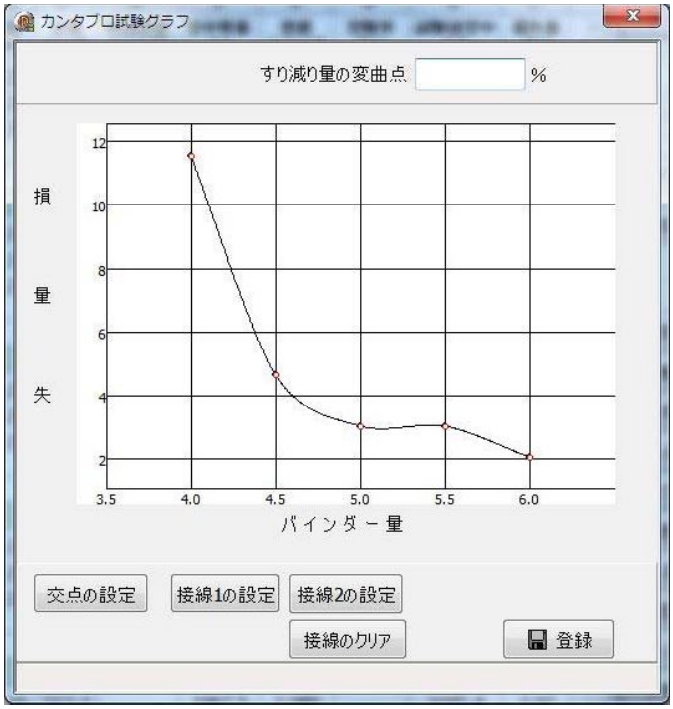
第３項　試験データの入力

書式2		供試体寸法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
試料番号	アス量(%)	高さ(cm)	直径(cm)	容積(cm3)	理論密度(g/cm3)	空中質量(g)	密度(g/cm3)	空隙率(%)	試験後空中(g)	損失量(%)
1		6.29	10.16	510.0		996.5	1.954		863.1	13.39
2		6.30	10.16	510.8		1003.6	1.965		904.5	9.87
3	4.0	6.35	10.16	514.8		1015.6	1.973		900.2	11.36
4										
5										
平均							1.964			11.54
1		6.37	10.16	516.4		1029.8	1.994		986.1	4.24
2		6.32	10.16	512.4		1034.4	2.019		980.1	5.25
3	4.5	6.33	10.16	513.2		1030.9	2.009		984.7	4.48
4										
5										
平均							2.007			4.66
1		6.30	10.16	510.8		1061.7	2.079		1029.1	3.07
2		6.32	10.16	512.4		1054.3	2.058		1022.6	3.01
3	5.0	6.33	10.16	513.2		1055.4	2.057		1023.2	3.05
4										
5										
平均							2.065			3.04
1		6.32	10.16	512.4		1061.7	2.072		1029.1	3.07
2		6.30	10.16	510.8		1054.3	2.064		1022.6	3.01
3	5.5	6.31	10.16	511.6		1055.4	2.063		1023.2	3.05
4										
5										
平均							2.066			3.04
1		6.33	10.16	513.2		1067.5	2.080		1045.4	2.07
2		6.33	10.16	513.2		1064.9	2.075		1043.3	2.03
3	6.0	6.31	10.16	511.6		1064.1	2.080		1042.3	2.05
4										
5										
平均							2.078			2.05

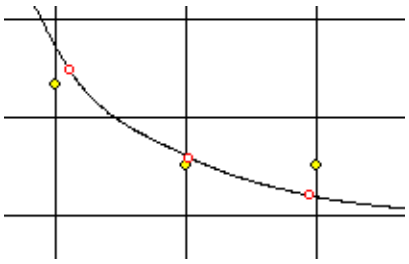
※入力後[Enter キー]で平均値を計算します。
※画面は加工しております。

第４項　グラフの設定

「グラフ表示」を押してグラフ画面を呼び出します。
下のグラフが表示されます。



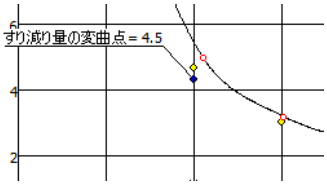
①グラフの微調整



マウスで赤い点をドラッグ(マウスのボタンを押したままにする)することで
グラフの微調整ができます。
※赤い点は印刷では出力されません。

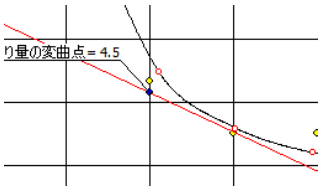
②グラフの接線を引く（交点の設定）

「交点の設定」ボタンを押して交点の設定モードにします。



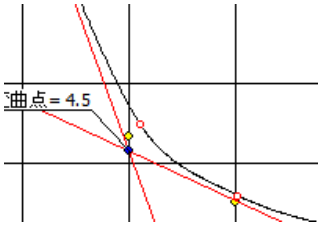
グラフ上でクリックをして交点を設定してください。

「接線１の設定」



グラフ上でクリックをして接線１を設定してください。
設定後「接線１の設定」をクリックして設定モードを解除してください。

「接線２の設定」



グラフ上でクリックをして接線２を設定してください。
設定後「接線２の設定」をクリックして設定モードを解除してください。

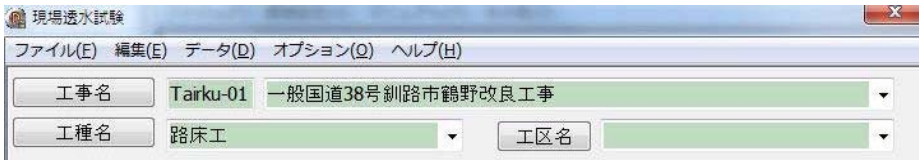
③設定を保存する

「登録」ボタンを押して設定を保存してください。

※グラフを変更した場合は再度「カンタブロ試験」のデータも登録してください。

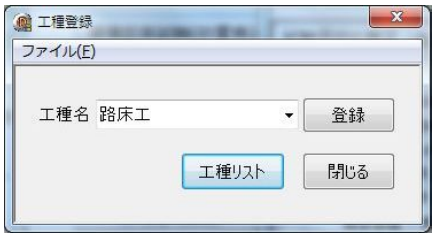
第１５章　現場透水試験

第１項　工事名、工種名、工区名



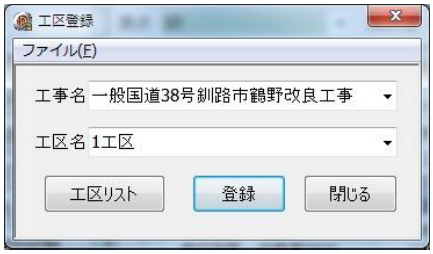
工事名が選択されていない場合は「▼」を押して登録した工事名を選択してください。

工種名を登録していない場合は「工種名」ボタンを押してください。



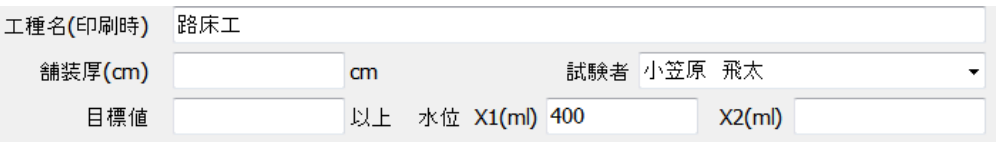
工種名を入力して「登録」ボタンを押して保存します。

工区名を登録していない場合は「工区名」ボタンを押してください。
（工区名が必要ない場合は空白にしてください）



工事名を「▼」で選択してから「工区名」を入力してください。
入力後「登録」ボタンを押して保存します。

「工種名」「舗装厚」「試験者」「目標値」「水位」を入力してください。



第３項　試験データの入力

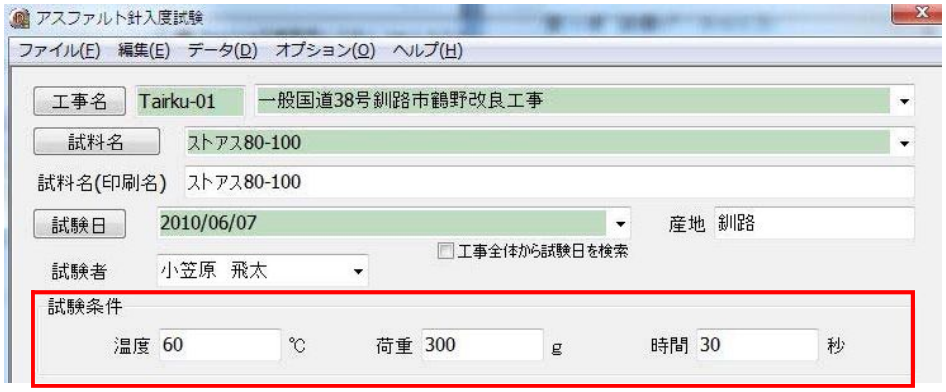
測点を入力します。データは測点別に保存する事ができます。
測点名は印刷時に表示される測点名です。
「ＳＰ～」「～Ｌ」などは測点名に入力してください。

※入力後[Enter キー]で透水量、平均値を計算します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１６節　針入度試験

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。
「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。
試験条件を入力します。

第２項　試験データの入力

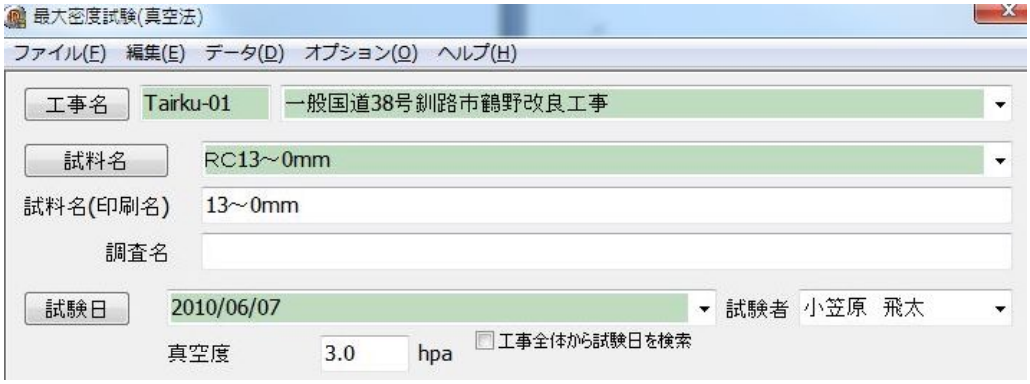
	測定番号	1	2	3	平均	摘要
1	1	86.6	88.3	89.7	88	
2	2	87.5	93.3	87.8	90	
3	3	89.8	86.5	93.7	90	
4	4	87.9	92.7	94.8	92	
5	5	89.9	93.9	93.3	92	

※入力後[Enter キー]で平均値を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１７節　最大密度管理(真空法)

第１項　工事名、試料名、試験日



「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。
「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

第２項　試験データの入力

	1	2	3	平均値
フラスコ番号	1	2	3	
フラスコ質量	795.0	798.0	791.2	
フラスコを満たす水の質量	2512.2	2515.5	2498.8	
①(フラスコ+試料)の質量	2300.0	2320.5	2321.8	
② 試 料 の 質 量	1505.0	1522.5	1530.6	
③(フラスコ+試料+水)の質量	4202.0	4215.5	4218.8	
④ 加えた水の質量	1902.0	1895.0	1897.0	
⑤試験の体積に相当する水の質量	610.2	620.5	601.8	
⑥水の温度	25	25	25	
⑦⑥における水の密度	0.9950	0.9950	0.9950	
最大密度	2.454	2.441	2.531	2.475

※入力後[Enter キー]で最大密度を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第１８節　推定針入度試験

第１項　工事名、試料名、試験日

「工事名」「試料名」「試験日」を選択します。

「試料名」ボタンを押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。

「最大密度試験」ボタンを押すと登録した最大密度試験のデータ一覧が表示します。

第２項　試験データの入力

	1	2	3	4	5
供試体平均厚	6.41	6.43	6.46	6.45	6.45
空中重量(cm)	1177.1	1175.3	1180.1	1182.2	1182.8
水中重量(g)	656.2	654.8	657.8	659.2	657.9
表乾重量(g)	1182.9	1180.9	1185.8	1188.1	1187.8
体 積(cm)	526.7	526.1	528.0	528.9	529.9
実際密度(g/cm3)	2.235	2.234	2.235	2.235	2.232
棄却･選別	×	○	○	○	×
平均密度(g/cm3)････②	2.235				
理論密度(g/cm3)････①	2.503				
空隙率(1-②/①)×100････C	10.7				
力計の読み････D		79	78	79	
安定度･････E		9.48	9.36	9.48	
平均値(kN)･･･B	9.44				
平均値(kgf)	963				
推定針入度･･･P	27				

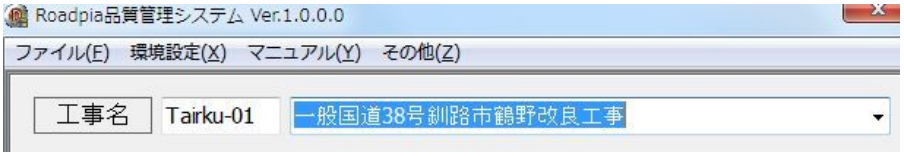
※入力後[Enter キー]で推定針入度を算出します。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

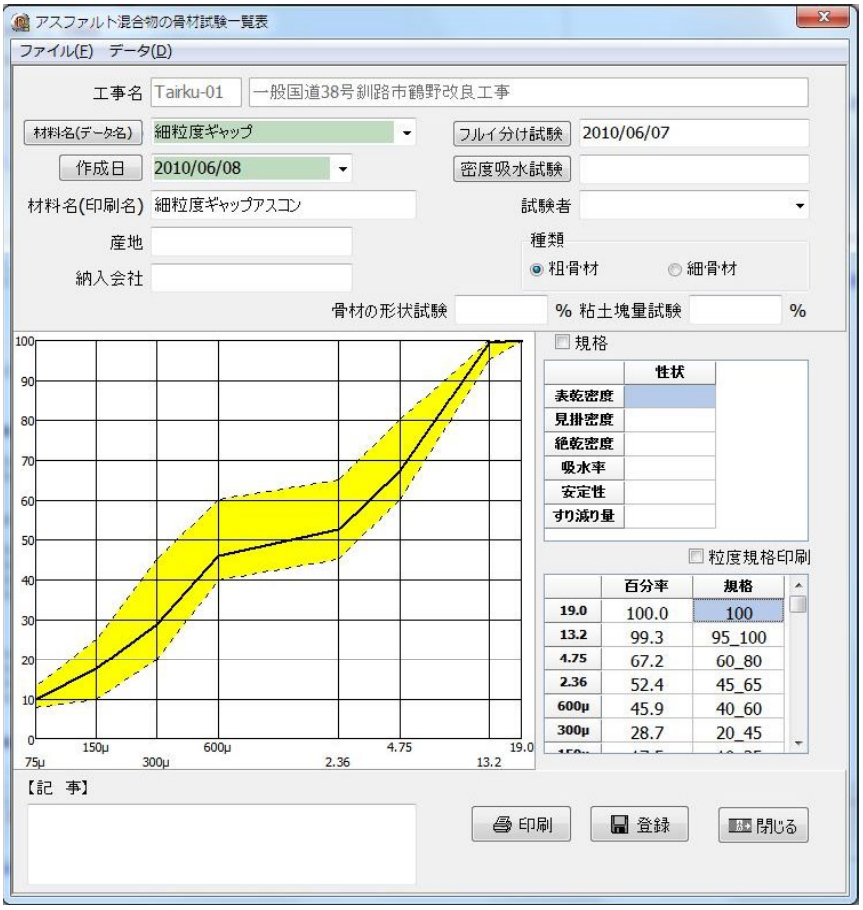
第６章　一覧表・とりまとめ表

第１節　骨材試験一覧表

骨材試験一覧表のウィンドウを表示する前に先に工事名を選択します。



工事名を選択後「骨材試験一覧表」ボタンを押してください。



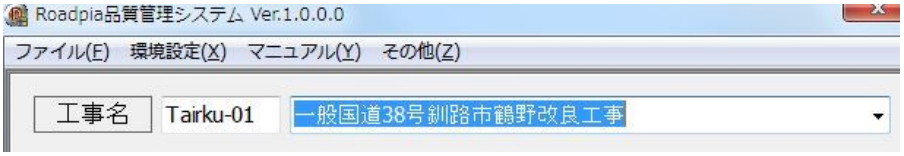
材料名を選択します。
「材料名(データ名)」を押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。
「フルイ分け試験」「密度吸水試験」を押すと登録されている試験データが一覧で表示します。
試験データを選択してください。

規格値・性状値を入力してください。

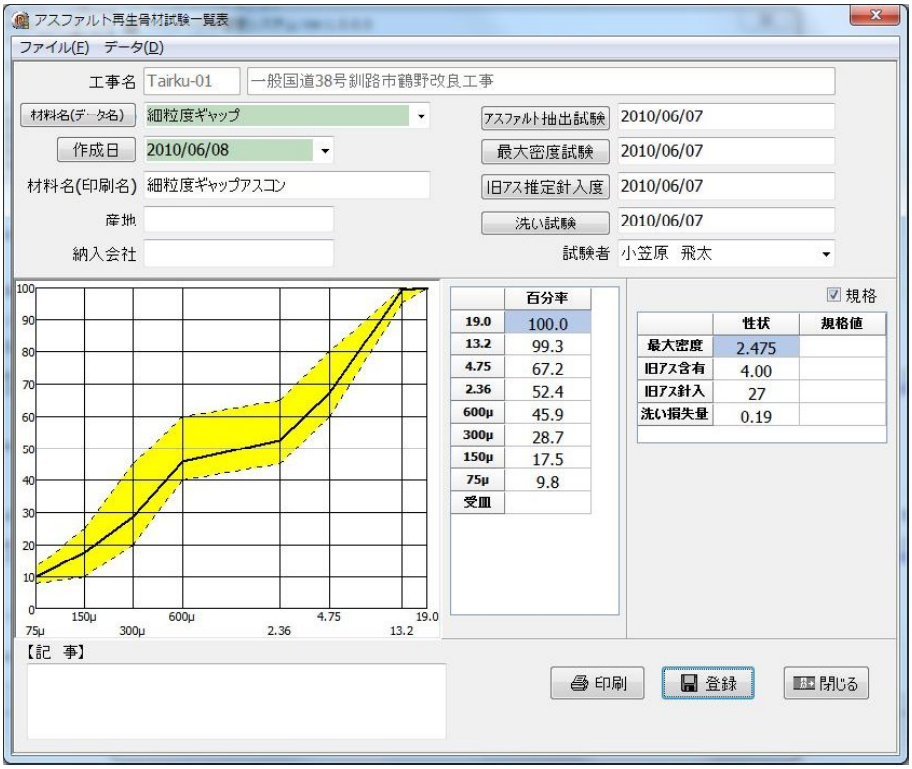
データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

第２節　再生骨材試験一覧表

再生骨材試験一覧表のウィンドウを表示する前に先に工事名を選択します。



工事名を選択後「再生骨材試験一覧表」ボタンを押してください。



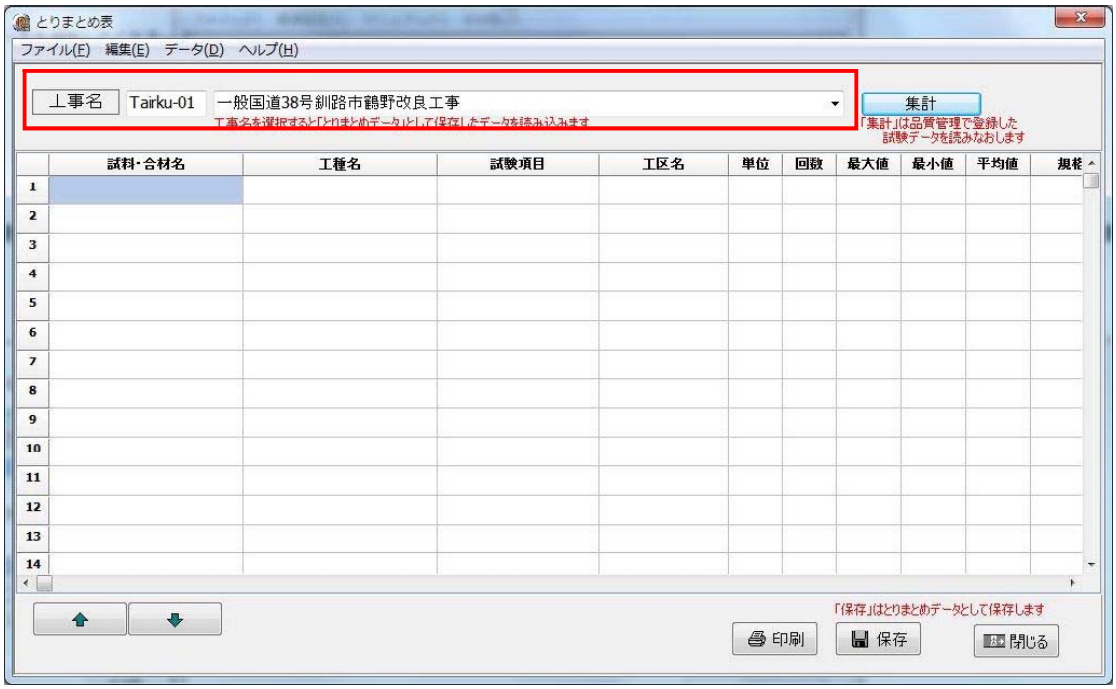
材料名を選択します。
「材料名(データ名)」を押すと登録した「合材データ」「試料データ」が表示します。
「アスファルト抽出試験」「最大密度試験」「旧アス推定針入度」「洗い試験」を押すと登録されている試験データが一覧で表示します。試験データを選択してください。

規格値・性状値を入力してください。

データを入力後「登録」ボタンを押してデータを保存してください。

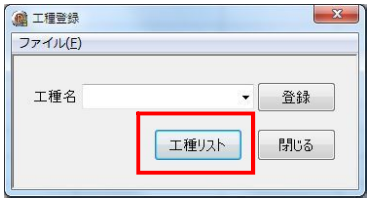
第３節　とりまとめ表

工事名を選択します。「▼」を押して登録している工事名を選択してください。

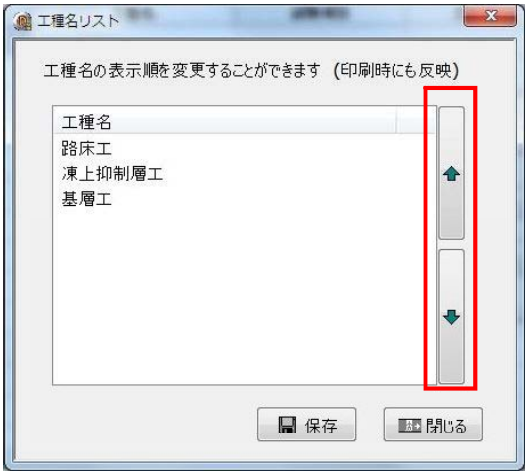


集計の順番を変更します。

上部の「データ」を押して「工種名」を押します。



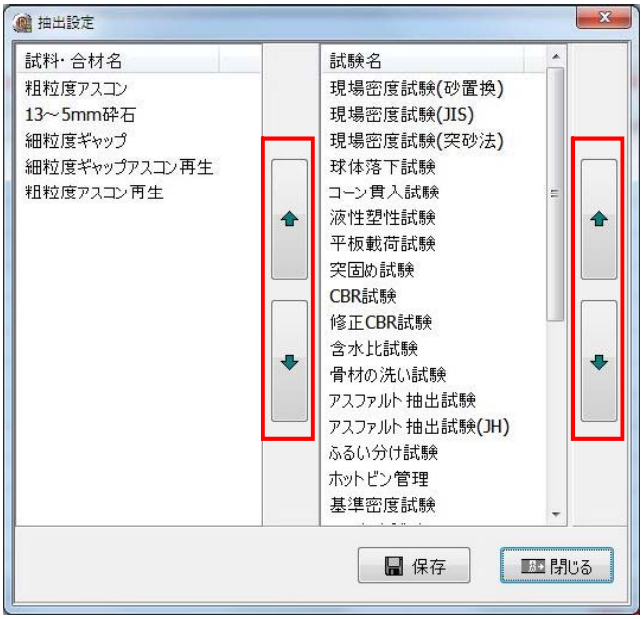
「工種リスト」を押して「工種名リスト」を表示します。



順番を変更したい工種名を選択します。
□の中の「↑」「↓」を押して
順番を変更します。

「保存」を押して順番を登録します。

上部の「データ」を押して「抽出設定」を押します。
抽出設定が表示します。



順番を変更したい試料・合材名を選択します。
□の中の「↑」「↓」を押して
順番を変更します。

試験名も同じく選択し「↑」「↓」を押して
順番を変更します。

「保存」を押して順番を登録します。

「工種リスト」「抽出設定」を変更後、「集計」ボタンを押してデータを集計します。

「↑」「↓」を押して抽出した試験データを並べ替えることができます。

「保存」ボタンを押すと開かれているデータを「とりまとめデータ」として保存します。
次回から同じ工事名を選択した時に登録した「とりまとめデータ」を呼び出します。

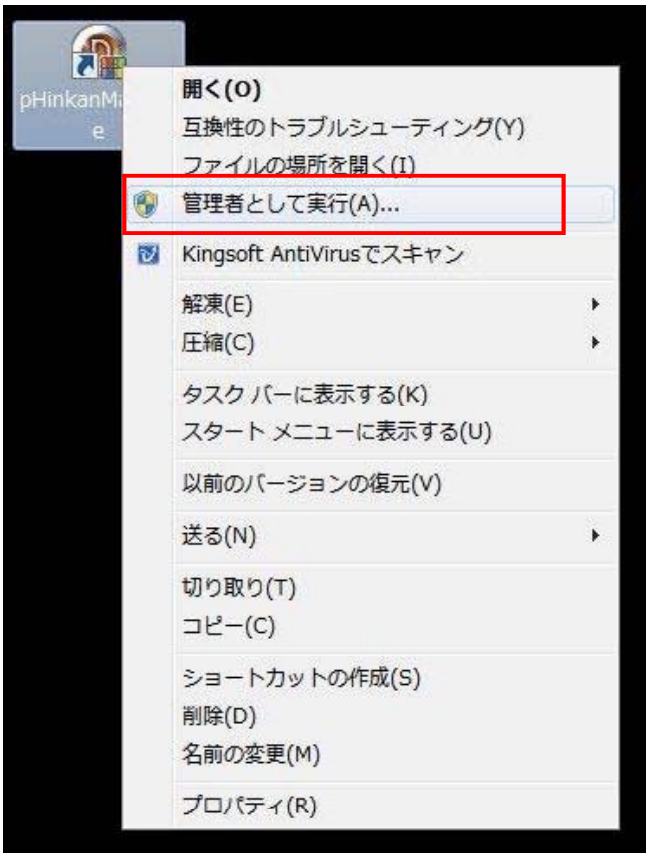
※「集計」ボタンを押すと保存した「とりまとめデータ」に関係なく最初から試験データを抽出します。

管理者としてソフト実行

Windows/Vista /7 を使用している場合は品質管理を起動する際に
「管理者として実行」を選択してアプリケーションを起動してください。

［例　スタートメニュー］

［例　デスクトップ上］



スタートメニューの中にある「TAIRIKU」を選択します。
「品質管理 09」の上で右クリックします。
メニューが表示するので「管理者として実行」を押します。

品質管理 09 が起動します。
Windows/Vista/7 をお使いのお客様はアプリケーションを起動する際には
上記の手順で起動してください。

試験データを別工事で保存

保存している試験データを別の工事名で保存します。

登録しているデータを表示します。

上部の「ファイル」から「開く」を選択します。

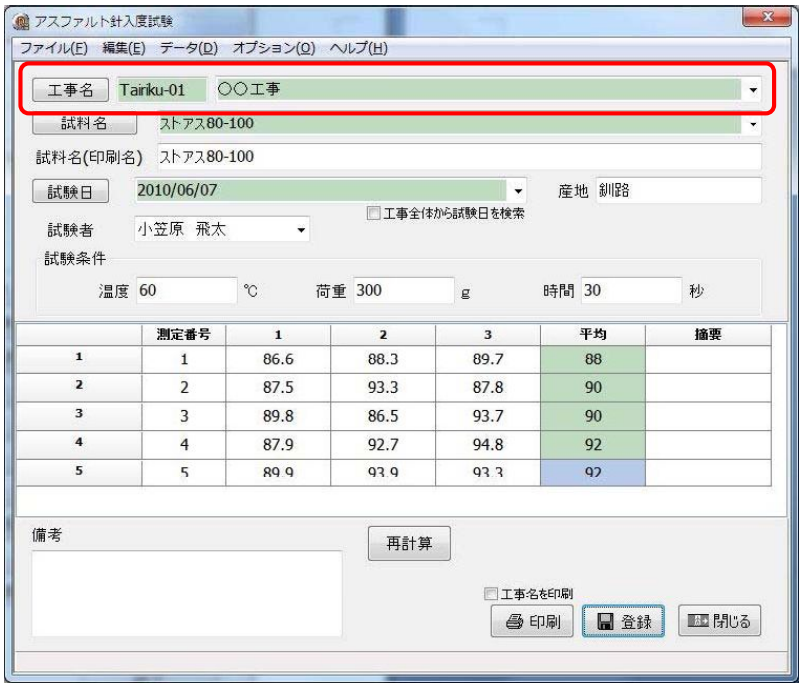
（例　針入度試験の場合）

登録した試験データが一覧で表示します。

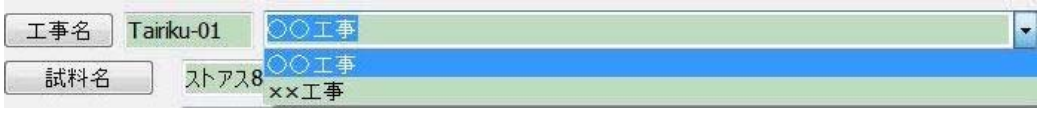
保存をする試験データを選択して「選択」ボタンを押します。

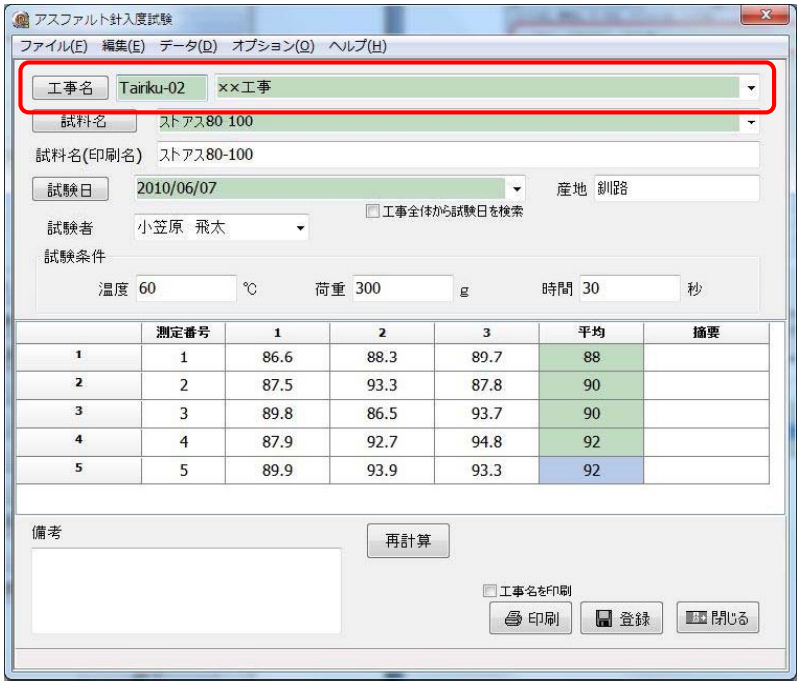
「選択」ボタンを押すとデータが開きます。

データを開いた状態で工事名を選択します。



「▼」を押して別の工事名を選択します。





工事名を変更して「登録」ボタンを押してください。

上部の「ファイル」から「開く」を選択して
別工事名で試験データが追加保存された事を確認してください。

針入度試験以外の試験も別工事で登録する事ができます。
必要に応じて「別工事で保存」を行ってください。